

## 年会長招待講演

年会長招待講演

6月17日(木) 16:00~17:00 第1会場

IL

### 毒性発現機序と代謝，種差

山添 康 (東北大学大学院薬学研究科)

座長：安仁屋 洋子 (琉球大学医学部)

## 特別講演

特別講演 1

6月16日(水) 9:30~10:30 第1会場

SL-1

### Glutathione transferases: Old enzymes, new roles

Yogesh C. AWASTHI (University of North Texas Health Science Center at Fort Worth, Texas, USA)

座長：佐藤 哲男 (千葉大学)

特別講演 2

6月17日(木) 9:45~10:45 第1会場

SL-2

### Cardio-renal effects of cyclooxygenase inhibitors: Mechanism of toxicity

Kanwar Nasir KHAN (Drug Safety Research & Development, Pfizer Research & Development)

座長：吉田 武美 (昭和大学薬学部)

## 教育講演

教育講演 1

6月16日(水) 10:45~11:45 第1会場

EL-1

### オンチップ・セロミクス：チップ上に細胞から臓器機能モデルを作る構成的アプローチ

安田 賢二 (東京医科歯科大学学生体材料工学研究所)

座長：真鍋 淳 (第一三共(株))

教育講演 2

6月17日(木) 11:00~12:00 第1会場

EL-2

### 特異体質性薬物毒性—動物からヒトへの外挿が困難な毒性の回避法の提案—

池田 敏彦 (横浜薬科大学)

座長：大野 泰雄 (国立医薬品食品衛生研究所)

# 特別セミナー

女流研究者からのメッセージ

6月16日(水) 17:00~18:00 第2会場

SS-1 私の研究エポック：神経情報伝達システムの薬理学

田中 千賀子 (神戸大学名誉教授)

SS-2 私の職業人生を振り返って：薬物動態と毒性発現との関わりの中で

佐藤 洋子 (元NIH・ロシュ)

座長：堀井 郁夫 (昭和大学薬学部, ファイザー(株))

安仁屋 洋子 (琉球大学医学部)

# シンポジウム

シンポジウム1

6月16日(水) 9:30~12:00 第2会場

## S1 毒性オミクス

座長：菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

矢守 隆夫 (癌研究会 癌化学療法センター 分子薬理部)

S1-1 システムバイオロジーによる毒性オミクスへのアプローチ

○北野 宏明 (特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構, 沖縄科学技術研究基盤整備機構)

S1-2 癌細胞パネル・インフォマティクスによる毒性オミクスへのアプローチ

○矢守 隆夫 (癌研究会 癌化学療法センター 分子薬理部)

S1-3 大規模トキシコゲノミクスデータベースのインフォマティクス解析による安全性バイオマーカー探索

○箕輪 洋介, 山田 弘

((独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト)

S1-4 Percellome 発生トキシコゲノミクスの進捗

○北嶋 聡, 高橋 祐次, 五十嵐 勝秀, 相崎 健一, 菅野 純

(国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

S1-5 インフォマティクス局面にあるPercellome トキシコゲノミクスの食品・食品添加物への適用

○菅野 純, 北嶋 聡, 高橋 祐次, 五十嵐 勝秀, 相崎 健一

(国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

**S2 化合物の毒作用発現とその回避：構造毒性相関からのアプローチ**

座長：三森 国敏（東京農工大）

堀井 郁夫（昭和大学、ファイザー）

**S2-1 毒性データベースと毒作用予測(1)：データベースの構築**

○山田 隆志（製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター）

**S2-2 毒性データベースと毒作用予測(2)：データベースの利用**

○林 真（食品農医薬品安全性評価センター）

**S2-3 毒作用発現回避のための化合物の化学修飾**

○内田 力（田辺三菱製薬(株) 創薬化学研究所 化学第一部 合成1Cグループ）

**S2-4 毒作用回避のための化合物の代謝予測**

○山添 康，伊藤 和美，吉成 浩一（東北大学大学院薬学研究科）

**S3 ファーマコビジランス/非臨床・臨床ジョイントディスカッションによる  
ヒトでのリスク最小化へのチャレンジ –システム構築へ向けて–  
「非臨床/トキシコロジストは、安全性医師と連携して副作用データをどう読むか」**

座長：佐藤 淳子（医薬品医療機器総合機構）

Edward Stewart GEARY（日本製薬医学会，エーザイ(株)）

岩崎 甫（日本製薬医学会）

築館 一男（エーザイ(株)）

茨田 享子（安全性評価研究会ファーマコビジランス分科会，協和発酵キリン(株)）

**S3-1 開催主旨**

安全性評価研究会ファーマコビジランス分科会，日本製薬医学会(JAPhMed)

**S3-2 臨床及び非臨床における肝障害に起因しない血中トランスアミナーゼ活性の上昇について**

○丹 求<sup>1)</sup>，菅井 象一郎<sup>2)</sup>，永田 健<sup>3)</sup>

(<sup>1)</sup>日本たばこ産業(株) 医薬事業部 医薬情報部，<sup>2)</sup>日本たばこ産業(株) 医薬総合研究所 安全性研究所，<sup>3)</sup>日本たばこ産業(株) 医薬事業部 開発企画部)

**S3-3 システムバイオロジーを用いた薬物性肝障害の原因究明アプローチ：  
キシメラガトランを例に**

○大古田 治（アストラゼネカ(株) 研究開発本部 薬事統括部 前臨床開発部 毒性グループ）

**S3-4 A review of the concordance of toxicity of pharmaceuticals in humans and animals**

○William M. BRACKEN (Director, Global Preclinical Safety, Abbott Laboratories)

**S3-5 総合討論**

**S4 沖縄産健康バイオ資源の研究開発**

座長：成松 鎮雄（岡山大学医歯薬学総合研究科）  
永沼 章（東北大学大学院薬学研究科）

**S4-1 沖縄の海洋生物資源による癌治療の可能性**

○石川 千恵（琉球大学亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構）

**S4-2 アキノワスレグサの睡眠改善作用について**

○上江洲 榮子（琉球大学教育学部健康栄養学）

**S4-3 沖縄産薬草ボタンボウフウの抗肥満作用**

○屋 宏典（琉球大学熱帯生物圏研究センター 遺伝資源応用学）

**S4-4 醗酵バガッセ(サトウキビ由来新食物繊維)のメタボリックシンドローム予防素材としての研究開発**

○稲福 直<sup>1)</sup>，与那覇 恵<sup>1)</sup>，稲福 盛雄<sup>1)</sup>，大原 誠資<sup>2)</sup>，柏木 豊<sup>3)</sup>，大澤 俊彦<sup>4)</sup>，石谷 邦彦<sup>5)</sup>，  
野本 亀久雄<sup>6)</sup>  
<sup>1)</sup>(株)琉球バイオリソース開発，<sup>2)</sup>(独)森林総研，<sup>3)</sup>(独)食総研，<sup>4)</sup>名大院，<sup>5)</sup>(医)東札幌病院，  
<sup>6)</sup>日々黎明塾

**S4-5 ビデンス・ピローサ(タチアワユキセンダングサ)の研究開発**

○櫻井 美典（(株)武蔵野免疫研究所）

**S5 Mitochondria-mediated toxicity**

座長：Yoko ANIYA (University of the Ryukyus)  
Yasushi YAMAZOE (Tohoku University)

**S5-1 Introduction: Role of mitochondria in drug-induced toxicity**

○Urs A. BOELSTERLI (Department of Pharmaceutical Sciences, University of Connecticut)

**S5-2 The mitochondrial permeability transition in apoptotic and necrotic cell death**

○John J. LEMASTERS (Medical University of South Carolina)

**S5-3 Mitochondria-mediated neurotoxicity in Alzheimer's disease**

○Kazuhiro TAKUMA<sup>1)</sup>，Toshio MATSUDA<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup>Laboratory of Medicinal Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University, <sup>2)</sup>Center for Child Mental Development, Graduate School of Medicine, Osaka University)

**S5-4 Evaluation of mitochondrial injury in preclinical safety assessment**

○Takashi YAMOTO<sup>1)</sup>，Atsushi SANBUISHO<sup>1)</sup>，Sunao MANABE<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>Medicinal Safety Research Laboratories, Daiichi Sankyo Co., Ltd., <sup>2)</sup>Global Project Management Department, Daiichi Sankyo Co., Ltd.)

S5-5

### Oxidant-induced mitochondrial permeability transition: Involvement of membrane-bound glutathione transferase

○Yoko ANIYA, Naoki IMAIZUMI

(Laboratory of Molecular Genetics and Pharmacology, School of Health Sciences,  
University of the Ryukyus)

## シンポジウム6

6月17日(木) 14:30~17:00 第2会場

### S6 医薬品代謝物の安全性評価

座長：内藤 真策 ((株)大塚製薬工場)

横井 毅 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

S6-1

#### 代謝物を考慮した薬物誘導性肝障害の予測試験系の検討

○横井 毅 (金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 薬物代謝化学教室)

S6-2

#### 医薬品代謝物の安全性評価：医薬品開発に向けた取り組み

○河島 浩輔 (製薬協医薬品評価委員会基礎研究部会)

S6-3

#### 代謝物の安全性評価とFDA及びICHの指針について

○大野 泰雄 (国立医薬品食品衛生研究所)

S6-4

#### 代謝物の安全性評価について：審査する立場から

○中野 賢司 (医薬品医療機器総合機構)

S6-5

#### 総合討論，まとめ

## シンポジウム7

6月18日(金) 9:00~11:30 第2会場

### S7 発達神経毒性の新たな評価方法の展開

座長：遠山 千春 (東京大学医学系研究科疾患生命工学センター健康環境医工学部門)

S7-1

#### 環境化学物質による発達神経毒性

○鯉淵 典之 (群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学)

S7-2

#### 周生期環境化学物質曝露が情動・社会行動発達に及ぼす影響

○小川 園子, 坂本 敏郎 (筑波大学大学院人間総合科学研究科行動神経内分泌学)

S7-3

#### 神経回路制御を司る神経活動依存的遺伝子発現と微細形態変化

○尾藤 晴彦 (東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経生化学)

S7-4

#### 認知学習試験，簡易試験，行動と分子をつなぐ試み

○掛山 正心 (東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター・健康環境医工学部門)

**S8 医薬品の環境リスク評価の現状と課題**

座長：西村 哲治 (国立医薬品食品衛生研究所)  
佐神 文郎 (日本製薬工業協会, エーザイ(株))

S8-1

**はじめに**

○佐神 文郎 (日本製薬工業協会, エーザイ(株))

S8-2

**Environmental risk assessment of pharmaceuticals in the US/EU  
- Current regulatory situation and compliance overview**

○Keith C. SILVERMAN (Global Safety & the Environment, Merck Sharp & Dohme)

S8-3

**わが国の医薬品環境リスク評価の考え方**

○西村 哲治 (国立医薬品食品衛生研究所 環境衛生化学部)

S8-4

**新たな環境影響評価法としてのWETの可能性**

○鑑迫 典久 ((独)国立環境研究所)

S8-5

**わが国の医薬品環境影響評価とリスク管理のあり方について－製薬業界からの提言－**

○東 泰好 (日本製薬工業協会, アストラゼネカ(株))

S8-6

**総合討論, まとめ**

## ワークショップ

**W1 マイクロRNAのトキシコロジーにおける役割**

座長：吉田 武美 (昭和大学薬学部)  
中島 美紀 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

W1-1

**マイクロRNAによるシトクロムP450の発現制御**

○中島 美紀 (金沢大学医薬保健研究域薬学系薬物代謝化学研究室)

W1-2

**精巢毒性におけるマイクロRNAの役割と今後の展望～エチレングリコールモノメチル  
エーテル(EGME)投与ラットにおける精巣でのマイクロRNA発現変動を中心に～**

○福島 民雄 (昭和大学薬学部毒物学教室, 塩野義製薬(株) 安全性研究部門)

W1-3

**臓器障害におけるマイクロRNAの変動とその役割－胎盤毒性を中心に－**

○瀧 憲二 (昭和大学薬学部毒物学教室, ファイザー(株) 非臨床開発研究部)

W1-4

### 抗がん薬耐性細胞におけるマイクロRNAの発現変動

○柴山 良彦<sup>1)</sup>, 田口 深雪<sup>2)</sup>, 池田 龍二<sup>1)</sup>, 古川 龍彦<sup>3)</sup>, 武田 泰生<sup>1,2)</sup>, 山田 勝士<sup>1,2)</sup>  
(<sup>1)</sup>鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部, (<sup>2)</sup>鹿児島大学歯学総合研究科 薬物動態制御学,  
<sup>3)</sup>鹿児島大学歯学総合研究科 分子腫瘍学)

W1-5

### 毒性発現におけるマイクロRNAの変動とその役割

○吉田 武美 (昭和大学薬学部毒物学教室)

## ワークショップ2

6月16日(水) 13:45~16:45 第3会場

### W2 サル類における最近の毒性評価

座長：西条 武俊 ((株)新日本科学)  
野村 護 ((株)イナリサーチ)

W2-1

#### サル類利用の現状と将来

○福西 克弘, 柴生田 由美子, 原 卓司, 西条 武俊  
((株)新日本科学)

W2-2

#### バイオ医薬品のサル類を用いた評価と代替法の可能性

○渡部 一人, 櫻井 貴之  
(中外製薬(株) 研究本部 安全性研究部)

W2-3

#### サル類のMHCと疾患モデル

○小原 栄, 寶来 直人, 中村 隆広  
((株)新日本科学)

W2-4

#### DNAマイクロアレイによるカニクイザルの遺伝子発現解析の有用性

○伊勢 良太, 宇野 泰広  
((株)新日本科学)

W2-5

#### サルを用いた安全性薬理試験の毒性試験への組み込み

○和田 聰, 谷川 常博, 落合 洋介, 廣安 誠, 小田切 則夫, 涌生 聖, 大保 真由美, 今泉 真和,  
安東 賢太郎, 直 弘, 倉田 祥正, 橋本 敬太郎  
(三菱化学メディエンス(株))

W2-6

#### 催不整脈モデルとしての慢性房室ブロック(AVB)サルの有用性

○坂口 靖江<sup>1)</sup>, 坂本 憲吾<sup>1)</sup>, 大谷 光嗣<sup>1)</sup>, 若狭 芳男<sup>1)</sup>, 森川 裕司<sup>1)</sup>, 宮崎 博子<sup>1)</sup>, 植松 敦司<sup>1)</sup>,  
杉山 篤<sup>2)</sup>, 野村 護<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>(株)イナリサーチ, (<sup>2)</sup>山梨臨床薬理研究所)

## ワークショップ3

6月17日(木) 9:00~12:00 第2会場

### W3 バイオロジクスの安全性評価における課題

座長：平林 容子 (国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部)  
中澤 隆弘 (日本イーライリリー薬事部)

W3-1

#### S6(R1)改訂のポイント

○真木 一茂 ((独)医薬品医療機器総合機構生物系審査第一部)

W3-2 アメリカにおけるバイオテクノロジー応用医薬品の非臨床安全性評価  
○Ruth M LIGHTFOOT-DUNN (Comparative Biology & Safety Sciences, Amgen Inc.)

W3-3 バイオ後続品のガイドライン施行1年での現状  
○荒戸 照世 ((独) 医薬品医療機器総合機構生物系審査第一部)

W3-4 細胞治療・再生医療や核酸医薬などの先端医薬品の品質・安全性評価  
○山口 照英 (国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部)

W3-5 「感染症予防ワクチンの非臨床試験ガイドライン」について  
○大澤 智子 ((独) 医薬品医療機器総合機構生物系審査第二部)

#### ワークショップ4

6月17日(木) 14:30~17:00 第3会場

#### W4 iPS細胞等多能性幹細胞を用いた創薬スクリーニングシステムの新展開 - 新知見からその魅力に迫る -

座長：真鍋 淳 (第一三共(株))

W4-1 ヒトiPS細胞からの心筋細胞分化誘導技術の開発  
- 機能発現の確認と疾患患者iPS細胞からの創薬支援技術への展開の可能性 -  
○福田 恵一 (慶應義塾大学医学部循環器内科)

W4-2 オンチップ・セロミクス技術を用いた心筋細胞ネットワークモデルの構成的構築と  
1細胞計測技術の開発  
○安田 賢二 (東京医科歯科大学生体材料工学研究所)

W4-3 ヒトES/iPS由来心筋細胞を用いた創薬スクリーニングシステム：  
薬物性QT延長症候群回避のための新たな戦略  
○杉山 篤 (東邦大学医学部薬理学)

W4-4 Human pluripotent stem cells for toxicology applications -Recent developments  
in hepatotoxicity-, cardiotoxicity-, and developmental toxicity testing  
○Peter SARTIPY, Petter BJÖRQUIST, Raimund STREHL, Johan HYLLNER  
(Cellartis AB)

#### ワークショップ5

6月18日(金) 9:00~11:30 第3会場

#### W5 心血管系に対する安全性薬理評価の進展

座長：山本 恵司 (武田薬品工業(株))  
杉山 篤 (東邦大学医学部薬理学)

W5-1 in silicoと in vitroの統合によるhERG チャネル阻害の回避  
○田保 充康<sup>1)</sup>, 長谷川 清<sup>2)</sup>, 本多 正樹<sup>1)</sup>, 大田 雅照<sup>2)</sup>  
(<sup>1)</sup>中外製薬(株) 安全性研究部, <sup>2)</sup>中外製薬(株) 創薬基盤技術研究部)

W5-2 薬物誘発性QT延長症候群のリスク評価のための in vivo 実験的アプローチ  
○千葉 克芳, 高砂 浄, 三分一所 厚司 (第一三共(株) 研究開発本部 安全性研究所)



W5-3

### カニクイザルのLolenz plots 解析からのQT延長リスク評価法

○安東 賢太郎<sup>1),2)</sup>, 桑原 正貴<sup>1)</sup>, 局 博一<sup>1)</sup>

(<sup>1)</sup>東京大学大学院農学生命科学獣医比較病態生理, <sup>2)</sup>三菱化学メディエンス(株))

W5-4

### 非臨床データと臨床心臓安全性評価－現状と展望－

○熊谷 雄治 (北里大学東病院治験管理センター)

## ワークショップ6

6月18日(金) 9:00~11:30 第1会場

### W6 抗悪性腫瘍薬開発におけるガイドライン運用の留意点

座長：中江 大 (東京都健康安全研究センター)

甲斐 修一 (スギ生物科学研究所(株))

W6-1

#### ICH-S9ガイドライン：考え方と他のガイドラインとの相違点

○小野寺 博志, 笛木 修 ((独)医薬品医療機器総合機構)

W6-2

#### ICH-S9ガイドラインの解釈と応用(1)：バイオテクノロジー応用医薬品

○James D. GREEN (Biogen Idec, Inc.)

W6-3

#### ICH-S9ガイドラインの解釈と応用(2)：ガイドラインに対するQ&A

○甲斐 修一 (スギ生物科学研究所(株))

W6-4

#### ICH-S9ガイドラインが抗悪性腫瘍薬の臨床開発の果たす役割

○坂本 倫次 (万有製薬(株))

W6-5

#### 総合討論

## ワークショップ7

6月18日(金) 13:15~16:15 第1会場

### W7 毒性質問箱2010

#### 第1部 母乳中薬物のリスク評価

座長：下村 和裕 (第一三共(株))

関 和男 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

W7-1

#### 母乳の意義

○関 和男 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター)

W7-2

#### 母乳中薬物のヒト新生児に及ぼす影響

○中島 研 (国立成育医療センター 薬剤部)

W7-3

#### 乳汁中薬物の毒性評価の問題点

○下村 和裕 (第一三共(株) 安全性研究所, 安全性評価研究会)

## 第2部 毒性試験報告書の常套句検証，常識はどこから来るのか・・・

座長：鈴木 睦（協和発酵キリン(株)）  
高橋 祐次（国立医薬品食品衛生研究所）

W7-4

### 常套句に潜む暗黙知・目的と総論

○高橋 祐次（国立医薬品食品衛生研究所）

W7-5

### 無毒性量を中心として

○竹藤 順子（中外製薬(株)）

W7-6

### 器質の変化を中心に

○鈴木 睦<sup>1)</sup>，堀井 郁夫<sup>2),3)</sup>（<sup>1)</sup>協和発酵キリン(株)，<sup>2)</sup>ファイザー(株)，<sup>3)</sup>昭和大学）

## パネルディスカッション

パネルディスカッション

6月18日(金) 13:15～15:45 第4会場

### PD In vitro トキシコロジー試験法の行政的な受け入れ

座長：堀井 郁夫（昭和大学薬学部，ファイザー(株)）  
井上 達（国立医薬品食品衛生研究所）

PD-1

### 新しい感作性および局所刺激性(皮膚・眼)試験法のOECDテストガイドライン

○小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 薬理部 新規試験法評価室）

PD-2

### NEDOで開発した試験とその行政的な受け入れ検討

○田中 憲穂（財食品薬品安全センター秦野研究所）

PD-3

### リスク評価におけるin vitro遺伝毒性試験の役割

○本間 正充（国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部）

PD-4

### in vitro内分泌かく乱試験法のOECDガイドライン受け入れ

○小野 敦（国立医薬品食品衛生研究所 総合評価研究室）

# 学会賞・奨励賞

学会賞・奨励賞受賞者講演

6月17日(木) 14:30～16:00 第1会場

## ■ 学会賞

**研究課題名：**生体内多臓器コメット法の開発とその毒性学的応用

津田 修治（岩手大学農学部獣医公衆衛生学教室）

座長：鍛冶 利幸（学会賞等選考小委員長（東京理科大学薬学部））

## ■ 奨励賞

**研究課題名：**環境汚染化学物質有機スズのグルタミン酸が関与する神経毒性

古武 弥一郎（広島大学大学院医歯薬学総合研究科）

**研究課題名：**毒作用発現とタンパク質等生体内因子発現との相関に関する研究

山本 利憲（ラクオリア創薬(株)）

座長：鍛冶 利幸（学会賞等選考小委員長（東京理科大学薬学部））

# 田 邊 賞

表彰式

6月17日(木) 13:30~14:30 第1会場

## ■ 田邊賞受賞論文

### Gene expression profiling in rat liver treated with various hepatotoxic-compounds inducing coagulopathy

○Mitsuhiro HIRODE<sup>1)</sup>, Ko OMURA<sup>1)</sup>, Naoki KIYOSAWA<sup>1)</sup>, Takeki UEHARA<sup>1)</sup>, Toshinobu SHIMUZU<sup>1)</sup>, Atsushi ONO<sup>1),2)</sup>, Toshikazu MIYAGISHIMA<sup>1)</sup>, Taku NAGAO<sup>3)</sup>, Yasuo OHNO<sup>1),2)</sup> and Tetsuro URUSHIDANI<sup>1),4)</sup>

(<sup>1)</sup>Toxicogenomics Project, National Institute of Biomedical Innovation, <sup>2)</sup>National Institute of Health Sciences, <sup>3)</sup>Food Safety Commission of Japan, <sup>4)</sup>Department of Pathophysiology, Doshisha Women's College of Liberal Arts)

### Low dose effects of dichlorodiphenyltrichloroethane (DDT) on gene transcription and DNA methylation in the hypothalamus of young male rats: Implication of hormesis-like effects

○Yasufumi SHUTOH<sup>1)</sup>, Makio TAKEDA<sup>1)</sup>, Ryoichi OHTSUKA<sup>1)</sup>, Atsuko HAISHIMA<sup>1)</sup>, Satoru YAMAGUCHI<sup>1)</sup>, Hideaki FUJIE<sup>1)</sup>, Yutaka KOMATSU<sup>1)</sup>, Keizo MAITA<sup>1),2)</sup> and Takanori HARADA<sup>1)</sup>

(<sup>1)</sup>The Institute of Environmental Toxicology, <sup>2)</sup>Agrotox Inc.)

### Catechol estrogens mediated activation of Nrf2 through covalent modification of its quinone metabolite to Keap1

○Daigo SUMI<sup>1),2)</sup>, Yumiko NUMASAWA<sup>1)</sup>, Akiko ENDO<sup>2)</sup>, Noriko IWAMOTO<sup>2)</sup> and Yoshito KUMAGAI<sup>1),2)</sup>

(<sup>1)</sup>Master's Program in Environmental Sciences, University of Tsukuba, <sup>2)</sup>Doctoral Programs in Medical Sciences, Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba)

### Comprehensive analysis of hepatic gene and protein expression profiles on phenobarbital- or clofibrate-induced hepatic hypertrophy in dogs

○Toshihiko MAKINO<sup>1),2)</sup>, Junzo KINOSHITA<sup>1)</sup>, Shingo ARAKAWA<sup>1)</sup>, Kazumi ITO<sup>1)</sup>, Yosuke ANDO<sup>1)</sup>, Takashi YAMOTO<sup>1)</sup>, Munehiro TERANISHI<sup>1)</sup>, Atsushi SANBUISHO<sup>1)</sup> and Hiroyuki NAKAYAMA<sup>2)</sup>

(<sup>1)</sup>Medicinal Safety Research Laboratories, Daiichi Sankyo Co., Ltd., <sup>2)</sup>Department of Veterinary Pathology, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, University of Tokyo)

選考委員長挨拶：滝沢 節子(中外製薬(株)研究本部鎌倉研究所)

プレゼンター：吉田 武美 理事長(昭和大学薬学部)

# 優秀研究発表

6月16日(水) 9:30~11:45 第4会場

## セッション1

座長：小林 靖奈(昭和大学 薬学部)

(9:30~10:15)

1. P-71 カドミウムの精巣障害に及ぼすメタロチオネイン-IIIの影響  
本田 晶子
2. P-72 カドミウムによるマウス小腸の鉄輸送関連遺伝子の発現抑制  
坂野 博紀
3. P-73 カドミウム長期曝露によるユビキチン関連遺伝子の発現抑制を介したp53の増加  
徳本 真紀
4. P-74 メチル水銀毒性発現における転写因子HSF1の役割  
領家 克典
5. P-75 メチル水銀毒性発現におけるピルビン酸と活性酸素種との関与  
李 辰竜
6. P-76 ナノマテリアルの安全性確保に向けて：非晶質ナノシリカの細胞内局在と安全性の連関に関する基礎情報の集積  
吉川 友章
7. P-77 刺青を基準物質としたカーボンナノチューブの生体適合性評価  
原 一生
8. P-78 ナノマテリアルの安全性確保に向けて：非晶質ナノシリカの生殖発生への影響に関する基礎評価  
山下 浩平
9. P-79 単層カーボンナノチューブによるヒト呼吸器系細胞のストレス関連遺伝子に及ぼす影響  
等 浩太郎
10. P-80 Diclofenacの反応性代謝物に及ぼすLipopolysaccharideの生体内影響  
岸田 知行
11. P-81 CYP2C19遺伝子多型によるサリドマイド体内動態変化に関する研究  
松澤 直樹

## セッション2

座長：石塚 真由美(北海道大学大学院 獣医学研究科)

(10:15~11:00)

12. P-82 フェノバルビタールのCYP2B誘導におけるHypoxia Inducible Factor-1の役割  
志津 怜太
13. P-83 Protection by Ethyl-3, 4-Dihydroxybenzoate (EDHB) against cell killing during chemical hypoxia to cultured rat hepatocytes: EDHB prevents free radicals in anoxia  
Lee Kang Kwang
14. P-84 ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた電気生理学的安全性評価の有用性  
本多 正樹
15. P-85 PDI familyタンパク質ERp29とERp46に対するビスフェノールAの影響について  
工藤 智弘
16. P-86 ダイオキシン曝露によるマウス肝臓中miR-101aの減少  
東山 渉
17. P-87 エストロゲン応答性レポーターTGマウスを用いた 2,3,7,8-TCDDのエストロゲンシグナルに対する影響評価  
北村 翔
18. P-88 Cre-loxPシステムを用いたマウス胎盤特異的遺伝子発現システムの構築  
浦田 聖
19. P-89 エコトキシコゲノミクスへの応用を目的とした半網羅的ディファレンシャル・ディスプレイ法  
伊東 志野
20. P-90 PXR活性化物質の種差プロファイリング：in vitroレポーターアッセイを用いた工業化学物質のスクリーニング  
吉成 浩一
21. P-91 薬剤誘発性胆管増生の判別モデル構築における学習データセットの比較  
武藤 裕紀
22. P-92 クロスオミクスによるグルタチオン枯渇型肝障害バイオマーカーの探索  
南 圭一

## セッション3

座長：福島 民雄(塩野義製薬(株))

(11:00~11:45)

23. P-93 化学物質の短期発がん性スクリーニング法へのGeneChipデータの適用  
松本 博士
24. P-94 ピペロニルブトキサイドによるマウス肝発がん促進でプロモーター領域のメチル化亢進を示した分子の増殖性病変での発現挙動  
川合 正臣
25. P-95 薬物誘発性肝障害ラットの血漿における新規肝臓特異的mRNAの定量  
大久保 慎吾

26. P-96 マウスでの化学物質誘発性肝肥大におけるConstitutive Androstane Receptorの役割  
坂本 洋平
27. P-97 アセトアミノフェン誘発性肝障害におけるVEGF受容体シグナリングの役割  
加藤 哲希
28. P-98 薬物誘導性肝障害に対するTamoxifenによる肝保護作用  
豊田 泰之
29. P-99 血漿オフタルミン酸測定の有用性評価  
喜古 健敬
30. P-100 プロピリスルフロンの蛋白結合によるラット血中ビリルビン濃度の低下  
羽子田 真理
31. P-101 薬物誘発性ミトコンドリア膜透過性遷移における種差の解明  
関根 秀一
32. P-102  $\alpha$ -Naphthylisothiocyanate (ANIT) 誘導性肝障害へのinterleukin-17 (IL-17) の関与  
小林 雅典
33. P-103 ジクロキサシリン誘導性肝障害における免疫学的因子の関与  
樋口 悟法

6月16日(水) 13:45~15:15 第5会場

#### セッション4

座長：三井田 宏明(第一三共(株))

(13:45~14:30)

34. P-104 セサモールのLPSによるマクロファージ活性化阻害について  
上原 淳奈
35. P-105 カニクイザルNK (ナチュラルキラー) 細胞の細胞傷害活性測定法の検討  
-CD107aの細胞表面への表出(脱顆粒)を指標として-  
原田 英樹
36. P-106 上皮細胞バリアに着目した食物アレルギーリスク評価  
渡利 彰浩
37. P-107 ラット甲状腺二段階発がんモデルにおけるスルファジメトキシンの発がん促進により誘発される被膜浸潤がんに対するラック色素及びコチニール色素の腫瘍修飾効果  
剣持 明
38. P-108 生体内還元物質によって変動するPt(IV)化合物の酸化的DNA損傷および架橋形成作用  
岡本 誉士典
39. P-109 ETBE慢性吸入曝露によるAldh2遺伝子ノックアウトマウスの肝臓DNA損傷について  
翁 祖銓

40. P-110 がん原性試験におけるICRマウスとB6C3F1マウスにおける背景データ比較  
八舟 宏典
41. P-111 がん原性試験におけるICRマウスとB6C3F1マウスの死因について  
中村 憲彦
42. P-112 *Gpt delta*マウスを用いた食品添加物estragoleの*in vivo*変異原性の解析  
鈴木 裕太
43. P-113 *gpt delta*ラットを用いたオクラトキシンAの*in vivo*変異原性の解析  
日比 大介
44. P-114 ゼブラフィッシュ胚を用いたレチノイン酸、バルプロ酸ナトリウム及びベラパミルの催奇形性評価  
山下 晃人

## セッション5

座長：田保 充康(中外製薬(株))

(14:30~15:15)

45. P-115 ラット黄体に病理学的変化をもたらす化学物質の卵巣毒性解析  
武田 賢和
46. P-116 妊娠ラットにおけるエンドトキシン毒性の増強  
黒岩 有一
47. P-117 カニクイザルにおける着床前遺伝子診断を用いた効率的な個体作出の試み  
小山 周三
48. P-118 尿中mRNAの腎障害バイオマーカーとしての利用可能性について  
辻 有紀子
49. P-119 CDDP単回静脈内投与ラットの腎臓におけるcystatin Cの免疫組織化学的局在  
富樫 裕子
50. P-120 多環芳香族炭化水素類 (PAHs) に対する両棲類の異物代謝機構の解明：  
両棲類で観察された第II相抱合反応の特徴と種差  
上田 春樹
51. P-121 イヌテレメトリー試験における心電図誘導法の検討  
山中 洋泉
52. P-122 ラットにおける血中カテコールアミン濃度の日内変動及び週齢変化  
飯開 順子
53. P-123 臨床病理学パラメーターに及ぼす絶食及び再給餌の影響 (第2報)  
山口 貴嗣
54. P-124 ブリーダーの違いによるイヌの月齢変化に伴う血中ホルモン濃度の差異  
野口 彰彦



# 一般演題 口演

## 1. 分子毒性, 薬物代謝

6月16日(水) 10:30~11:30 第5会場

10:30~11:00

座長: 熊谷 嘉人(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)

O-1

### ベンゼンによる造血毒性とスルフォラファンによる消去の背景機構

○平林 容子<sup>1</sup>, 李 光勲<sup>1</sup>, 淀井 淳司<sup>2</sup>, 五十嵐 勝秀<sup>1</sup>, 関田 清司<sup>1</sup>, 黒川 雄二<sup>3</sup>, 菅野 純<sup>1</sup>, 井上 達<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター毒性部, <sup>2</sup>京都大学ウイルス研究所 生体応答学研究部門 感染防御研究分野, <sup>3</sup>佐々木研究所, <sup>4</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター

O-2

### ジアシルグリセロール誘発Hras128ラット乳腺腫瘍におけるPKC発現の増加

○酒々井 眞澄<sup>1,3</sup>, 吉田 一郎<sup>1</sup>, 松永 俊之<sup>2</sup>, 原 明<sup>2</sup>, 深町 勝己<sup>3</sup>, 津田 洋幸<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>岐阜薬科大学分子薬物治療学, <sup>2</sup>岐阜薬科大学学生化学, <sup>3</sup>名古屋市立大学分子毒性学

O-3

### アドリアマイシン毒性軽減機構における脱ユビキチン化酵素Ubp3と小胞体-ゴルジ体間の小胞輸送経路との関係

晴山 聖子, 深澤 ちさと, 廣瀬 健一郎, ○高橋 勉, 永沼 章  
東北大学大学院薬学研究科生体防御薬学

11:00~11:30

座長: 沼澤 聡(昭和大学 薬学部)

O-4

### 共有結合量による特異体質性肝毒性リスク評価系の確立 ~<sup>3</sup>H標識体の有用性の検討~

○白井 亨, 橋爪 孝典, 矢吹 昌司, 小室 勢津子  
大日本住友製薬(株)薬物動態研究所

O-5

### Gunnラットにおけるタバコ特異的発がん物質4-(methylnitrosamino)-1-(3-pyridyl)-1-butanone(NNK)の体内動態

○横山 直哉, 斎藤 厚太, 西山 貴仁, 大沼 友和, 小倉 健一郎, 平塚 明  
東京薬科大学薬学部薬物代謝安全性学教室

O-6

### 生体異物代謝異常による動脈硬化発症メカニズム

○宇野 茂之, 遠藤 香織, 槇島 誠  
日本大学 医学部 生体機能医学系 生化学分野

## 2. オミクス, ナノマテリアル, 毒性発現機構, 発ガン物質

6月17日(木) 9:00~11:40 第4会場

9:00~9:30

座長: 山田 弘((独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト)

O-7

### メタボノミクス手法によるラット白内障マーカー探索

○宮園 優子<sup>1,2</sup>, 原田 和生<sup>1</sup>, 杉山 幸嗣<sup>2</sup>, 上野 元伸<sup>2</sup>, 鳥井 幹則<sup>2</sup>, 加藤 育雄<sup>2</sup>, 松浦 秀幸<sup>1</sup>, 平田 収正<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院 薬学研究科, <sup>2</sup>塩野義製薬(株)新薬研究所 安全性研究部門

O-8

**血漿中miRNAの網羅的解析による肝障害バイオマーカー創出の取り組み**

○神吉 将之<sup>1</sup>, 太田 聖子<sup>2</sup>, 南 圭一<sup>3</sup>, 中津 則之<sup>2</sup>, 五十嵐 芳暢<sup>2</sup>, 堀之内 彰<sup>4</sup>, 小野 敦<sup>5</sup>,  
山田 弘<sup>2</sup>, 漆谷 徹郎<sup>2,6</sup>, 大野 泰雄<sup>5</sup>

<sup>1</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所, <sup>2</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクスインフォマティクスプロジェクト, <sup>3</sup>小野薬品工業(株)研究本部 福井研究所 安全性研究部, <sup>4</sup>武田薬品工業(株)開発研究センター, <sup>5</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>6</sup>同志社女子大学 薬学部

O-9

**Percellome手法を用いたTCDD投与マウスの胎児口蓋の遺伝子発現解析(3)**

○高木 篤也<sup>1</sup>, 北嶋 聡<sup>1</sup>, 五十嵐 勝秀<sup>1</sup>, 相崎 健一<sup>1</sup>, 江馬 真<sup>2</sup>, 菅野 純<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 総合評価研究室

9:30~10:00

**座長：広瀬 明彦**(国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 総合評価室)

O-10

**ディーゼル排ガス由来ナノ粒子の亜急性吸入曝露によるマウス脳への影響**

○山元 昭二, ティン ティン ウィン シュイ, 藤谷 雄二, 平野 靖史郎, 井上 健一郎, 藤巻 秀和  
(独)国立環境研究所

O-11

**非晶質ナノシリカの粒子特性と自然免疫応答の連関評価とそのメカニズム解析**

○吉岡 靖雄<sup>1,2,4</sup>, 森重 智弘<sup>2,4</sup>, 角田 慎一<sup>1,2,3</sup>, 向 洋平<sup>4</sup>, 岡田 直貴<sup>4</sup>, 堤 康央<sup>1,2,5</sup>, 中川 晋作<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>2</sup>(独)医薬基盤研究所創薬プロテオミクスプロジェクト, <sup>3</sup>大阪大学連携大学院薬学研究科医薬基盤科学分野, <sup>4</sup>大阪大学大学院薬学研究科薬剤学分野, <sup>5</sup>大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野

O-12

**ナノマテリアルの安全性確保に向けて：トキシコプロテオミクスによるナノマテリアルの安全性評価マーカーの探索に向けた基礎的検討**

○東阪 和馬<sup>1,2</sup>, 吉岡 靖雄<sup>1,3</sup>, 山下 浩平<sup>1,2</sup>, 森下 裕貴<sup>1,2</sup>, 吉田 徳幸<sup>1,2</sup>, 藤村 真穂<sup>1,2</sup>, 長野 一也<sup>1</sup>,  
阿部 康弘<sup>1</sup>, 鎌田 春彦<sup>1,3</sup>, 伊藤 徳夫<sup>2</sup>, 吉川 友章<sup>1,2</sup>, 角田 慎一<sup>1,3,4</sup>, 堤 康央<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所創薬プロテオミクスプロジェクト, <sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野, <sup>3</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>4</sup>大阪大学連携大学院薬学研究科医薬基盤科学分野

10:00~10:30

**座長：納屋 聖人**((独)産業技術総合研究所 安全科学研究部門)

O-13

**ナノマテリアルの安全性確保に向けて：  
非晶質ナノシリカが抗原特異的免疫誘導に与える影響**

○平井 敏郎<sup>1,2</sup>, 吉川 友章<sup>1,2</sup>, 鍋師 裕美<sup>1,2</sup>, 仲里 泰太郎<sup>1,2</sup>, 松山 恵吾<sup>1,2</sup>, 栃木 彩恵子<sup>1,2</sup>,  
近藤 小百合<sup>1,2</sup>, 赤瀬 貴憲<sup>1,2</sup>, 長野 一也<sup>2</sup>, 阿部 康弘<sup>2</sup>, 吉岡 靖雄<sup>2,3</sup>, 鎌田 春彦<sup>2,3</sup>, 今澤 孝喜<sup>4</sup>,  
伊藤 徳夫<sup>1,2</sup>, 角田 慎一<sup>2,3,5</sup>, 堤 康央<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野, <sup>2</sup>(独)医薬基盤研究所創薬プロテオミクスプロジェクト, <sup>3</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>4</sup>(独)医薬基盤研究所共同機器実験室, <sup>5</sup>大阪大学連携大学院薬学研究科医薬基盤科学分野

O-14

**光照射によるフラーレンC60およびその修飾物の脂質過酸化物産生量および微弱発光の変化**

○松本 建<sup>1</sup>, 勝又 政和<sup>2</sup>, 竹内 綾乃<sup>2</sup>, 数村 公子<sup>2</sup>, 小安 純子<sup>1</sup>, 平松 光夫<sup>2</sup>, 大堀 祐司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部安科研事業部横浜研究センター, <sup>2</sup>浜松ホトニクス(株)中央研究所第8研究室

O-15

**線虫*C. elegans*におけるナノシリカの生体影響及び遺伝子発現変動解析**

○井口 綾子<sup>1</sup>, 上田 清佳<sup>2</sup>, 内匠 正太<sup>2</sup>, 山元 涼子<sup>1</sup>, 吉 赫哲<sup>2</sup>, 吉岡 靖雄<sup>3,4</sup>, 堤 康央<sup>3,4</sup>, 富永 伸明<sup>5</sup>, 有蘭 幸司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本県立大学大学院 環境共生学研究科, <sup>2</sup>熊本県立大学 環境共生学部, <sup>3</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>4</sup>大阪大学大学院 薬学研究科 薬剤学分野, <sup>5</sup>国立有明工業高等専門学校物質工学科

10:30~10:50

座長：佐藤 恵一郎(武田薬品工業(株))

O-16

**抗菌薬による腸内細菌叢の変動は回腸胆汁酸吸収トランスポーターASBTの発現上昇に関与する**

○宮田 昌明, 山川 泰輝, 栗林 秀明, 浜津 真由美, 山添 康  
東北大学大学院薬学研究科 薬物動態学分野

O-17

**5-フルオロウラシルによる骨髄毒性発現メカニズム-p53との関連性-**

○三宅 祥太, 杉原 加寿子, 沼澤 聡, 吉田 武美  
昭和大学薬学部毒物学教室

10:50~11:10

座長：吉成 浩一(東北大学 大学院薬学研究科)

O-18

**薬物のリン脂質症誘発能と細胞の脂質取り込みおよび酸性ベシクル内薬物集積量との関係**

齋藤 まど香, 平井 恵奈, ○黒田 幸弘  
武庫川女子大学薬学部薬品物理化学講座

O-19

**毒性発現における変異原性とエピ変異原性の関与**

○澁谷 徹, 堀谷 幸治  
Tox21研究会

11:10~11:40

座長：吉田 緑(国立医薬品食品衛生研究所 病理部)

O-20

**Indole-3-carbinolのラット肝発がんプロモーション作用についての分子病理学的解析**

○嶋本 敬介<sup>1,2</sup>, 川合 正臣<sup>1,2</sup>, 三枝 由紀恵<sup>1,2</sup>, 剣持 明<sup>1,2</sup>, 渋谷 淳<sup>1</sup>, 三森 国敏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京農工大学 獣医病理, <sup>2</sup>岐阜大学 連合獣医

O-21

**rasH2マウスにおける発がん感受性モニタリング簡略化の試み**

○浦野 浩司, 町田 一彦, 吉村 マスミ, 富澤 政史, 保田 昌彦, 野村 達次  
(財)実験動物中央研究所

O-22

**ラットにおける多層カーボンナノチューブ(MWCNT)による中皮腫の誘発の用量相関性と血清ERC/mesothelinレベルの増加**

○坂本 義光<sup>1</sup>, 中江 大<sup>1,2</sup>, 佐藤 かな子<sup>1</sup>, 大橋 則雄<sup>1</sup>, 小縣 昭夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都健康安全研究センター 環境保健部, <sup>2</sup>東京農業大学

**3. 生殖毒性, 代替法, 毒性試験法, 安全性評価, モデル動物 6月17日(木) 14:30~17:10 第4会場**

14:30~14:50

座長：大島 洋次郎(新日本科学(株))

O-23

**6メルカプトプリン暴露ラットにおける小胎盤と胎児発育抑制との関係**

○古川 賢, 林 清吾, 白田 浩二, 阿部 正義, 小川 いづみ  
日産化学工業(株)生物科学研究所 安全性研究部

O-24

### ラット胎盤血流量に及ぼすケトコナゾールの影響

○市川 あおい<sup>1,2</sup>, 杉本 武志<sup>1</sup>, 城塚 康毅<sup>1</sup>, 前田 恵美子<sup>1</sup>, 茶谷 文雄<sup>1</sup>, 松本 清<sup>1</sup>, 川手 憲俊<sup>2</sup>, 玉田 尋道<sup>2</sup>

<sup>1</sup>武田薬品工業(株)医薬研究本部 開発研究センター, <sup>2</sup>大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医繁殖学教室

14:50~15:20

座長：滝沢 節子(中外製薬(株)鎌倉研究所)

O-25

### カニクイザルの精巣成熟度について

○須田 雅一, 坂本 和仁, 山下 浩幸, 山下 ゆかり, 山本 隆, 大島 洋次郎, 洲加本 孝幸  
(株)新日本科学 安全性研究所

O-26

### マウスES細胞を用いた神経系分化系におけるメチル水銀の毒性影響評価

○何 小明<sup>1</sup>, 永野 麗子<sup>2</sup>, 赤沼 宏美<sup>2</sup>, 座波 ひろ子<sup>2</sup>, 遠山 千春<sup>1</sup>, 曾根 秀子<sup>2</sup>, 大迫 誠一郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東大医学部・疾患生命工学センター・健康環境医工学部門, <sup>2</sup>国立環境研究所・環境リスク研究センター・健康リスク評価研究室

O-27

### 水酸化PBDEによる発生毒性の解析

○馬場 一信<sup>1</sup>, 谷山 太一<sup>1</sup>, 浦丸 直人<sup>2</sup>, 杉原 数美<sup>3</sup>, 北村 繁幸<sup>2</sup>, 今岡 進<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西学院大学 理工学部 生命科学科, <sup>2</sup>日本薬科大学 健康薬学科, <sup>3</sup>広島国際大学 薬学部

15:20~15:50

座長：小島 肇(国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験センター 薬理部)

O-28

### コラーゲンビトリゲル薄膜を利用したヒト角膜上皮モデルの開発とその眼刺激性化学物質の暴露によるバリア機能の変化

西川 和範<sup>1,2</sup>, 山本 智子<sup>1</sup>, 王 碧昭<sup>2</sup>, ○竹澤 俊明<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(独)農業生物資源研究所 遺伝子組換え家畜研究センター, <sup>2</sup>筑波大学大学院 生命環境科学研究科

O-29

### マウスおよびヒトES細胞の神経分化系を用いたサリドマイドの影響についての研究

○永野 麗子<sup>1</sup>, 何 小明<sup>2</sup>, 横山 雅美<sup>2</sup>, 赤沼 宏美<sup>1</sup>, 座波 ひろ子<sup>1</sup>, 末盛 博文<sup>3</sup>, 大迫 誠一郎<sup>2</sup>, 曾根 秀子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立環境研究所 環境リスク研究センター リスク評価研究室, <sup>2</sup>東大医学部 疾患生命工学研究センター, <sup>3</sup>京都大学再生医科学研究所 幹細胞センター

O-30

### ヒトES/iPS細胞を用いた新規発生毒性試験代替法の検討

○安藤 覚, 鈴木 紀之, 齋藤 幸一

住友化学(株)生物環境科学研究所

15:50~16:10

座長：野村 護((株)イナリサーチ)

O-31

### 毒性学研究での統計手法とその記述の実態調査

○浜田 知久馬

東京理科大学

O-32

### プロテオミクス解析によるカーボンナノチューブの新規安全性評価

○羽二生 久夫<sup>1</sup>, 松田 佳和<sup>2</sup>, 薄井 雄企<sup>3</sup>, 青木 薫<sup>3</sup>, 清水 政幸<sup>3</sup>, 荻原 伸英<sup>3</sup>, 原 一生<sup>3</sup>, 石垣 範雄<sup>3</sup>, 中村 恒一<sup>3</sup>, 竹内 健司<sup>4</sup>, 齋藤 直人<sup>3</sup>, 遠藤 守信<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>信州大学カーボン科学研究所, <sup>2</sup>日本薬科大学病態生理学分野, <sup>3</sup>信州大学医学部, <sup>4</sup>信州大学工学部

16:10~16:40

座長：久田 茂(あすか製薬(株)安全性研究部)

O-33

### メトトレキサートを用いた治療中の母親における授乳の安全性

○田中 敏博<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>トロント小児病院 臨床薬理学部門, <sup>2</sup>日立製作所 水戸総合病院 小児科

O-34

### F344ラットにおけるセイヨウワサビ飲水投与による膀胱発がん修飾作用の検討

○チョウ ヨンマン<sup>1</sup>, 今井 俊夫<sup>1,2</sup>, 高見 成昭<sup>1</sup>, 豊田 武士<sup>1</sup>, 小川 久美子<sup>1</sup>, 西川 秋佳<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 病理部, <sup>2</sup>国立がんセンター研究所 実験動物管理室

O-35

### NOGマウスを用いた再生医療品の安全性試験

○田中 直子<sup>1</sup>, 畑 優<sup>1</sup>, 室田 知美<sup>1</sup>, 早場 純子<sup>1</sup>, 麻生 良平<sup>1</sup>, 岩本 優美<sup>1</sup>, 萩原 仁美<sup>1</sup>, 張替 貴志<sup>1</sup>, 西田 仁<sup>1</sup>, 坂本 健太<sup>1</sup>, 野崎 雄介<sup>1</sup>, 辻(宮本) 直子<sup>1</sup>, 山本 敬<sup>1</sup>, 鮫島 正<sup>1</sup>, 齋藤 充弘<sup>2</sup>, 宮川 繁<sup>2</sup>, 澤 芳樹<sup>2</sup>

<sup>1</sup>テルモ(株)研究開発本部, <sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学

16:40~17:10

座長：鈴木 真((独)沖縄科学技術研究基盤整備機構)

O-36

### 新規in vivo網膜可視化色素を用いたメベンダゾールの網膜細胞毒性評価

○西村 有平<sup>1,2,3,4</sup>, 今 鉄男<sup>1</sup>, 渡邊 耕平<sup>6</sup>, 野本 毅<sup>6</sup>, 新藤 太一<sup>6</sup>, 岡 岳彦<sup>1</sup>, 梅本 紀子<sup>1</sup>, 島田 康人<sup>1,2,3,4</sup>, 黒柳 淳哉<sup>1</sup>, 西村 訓弘<sup>2,5</sup>, 宮崎 健<sup>6</sup>, 今村 剛士<sup>6</sup>, 田中 利男<sup>1,2,3,4</sup>

<sup>1</sup>三重大学大学院医学系研究科 薬理ゲノミクス, <sup>2</sup>三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター, <sup>3</sup>三重大学ベンチャービジネスラボラトリー ケモゲノミクス, <sup>4</sup>三重大学生命科学研究支援センター バイオインフォマティクス, <sup>5</sup>三重大学大学院医学系研究科 トランスレーショナル医科学, <sup>6</sup>キヤノン(株)総合R&D本部

O-37

### ベンゼンの造血障害に対する多環芳香族炭化水素受容体の関与と骨髄特異的異物代謝続報

○井上 達<sup>1</sup>, 尹 秉一<sup>2,3</sup>, 関田 清司<sup>2</sup>, 菅野 純<sup>2</sup>, 藤井 義明<sup>4</sup>, 平林 容子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター毒性部, <sup>3</sup>韓国国立江原大学校獣医学部 獣医病理, <sup>4</sup>筑波大学 先端学際領域研センター

O-38

### CD4<sup>+</sup>CD45RB<sup>high</sup>CD25<sup>-</sup>細胞移植SCIDマウスにおける慢性大腸炎の病態プロファイリング

○永岡 真<sup>1</sup>, Zaher RADI<sup>1</sup>, 堅田 亜由<sup>2</sup>, 長倉 泰典<sup>2</sup>, 多治見 政臣<sup>2</sup>, 市川 克臣<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Pfizer Inc. Drug Safety Research & Development, <sup>2</sup>Pfizer Japan. Nagoya Laboratories, Discovery Biology Research

4. 循環器, 呼吸器, 脳神経, 金属, 医薬品・環境汚染物質

6月18日(金) 9:00~11:30 第4会場

9:00~9:30

座長：澤田光平(エーザイ(株)安全性研究部)

O-39

### カニクイザル乳頭筋を用いた活動電位波形の取得

○津村 義和, 川端 貫太, 飯塚 宏美, 橋本 敬太郎, 大保 真由美, 直 弘

三菱化学メディエンス(株)安科研事業部 鹿島事業所 薬理研究部

O-40

**マイクロミニピッグのQT延長評価系としての可能性**

○秋江 靖樹, 斉藤 裕之, 永山 幸利, 楯 美樹, 岡田 啓  
スギ生物科学研究所(株)

O-41

**覚醒剤の心筋への作用にストレスは影響するのか？**

○富田 正文<sup>1</sup>, 奥山 敏子<sup>1</sup>, 渡辺 洋子<sup>2</sup>, 日高 和夫<sup>2</sup>, 伏見 滋子<sup>3</sup>, 勝山 博信<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学医用中毒学教室, <sup>2</sup>川崎医科大学自然科学教室, <sup>3</sup>川崎医科大学公衆衛生学教室

9:30~10:00

**座長：大石 裕司**(アステラス製薬(株))

O-42

**空気清浄機による肺のDNA損傷**

○河本 光祐<sup>1</sup>, 佐藤 至<sup>1</sup>, 吉田 緑<sup>2</sup>, 津田 修治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岩手大学農学部, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所病理部

O-43

**酸化チタン曝露ラットの肺の経時的变化とチタンの局在**

○吉田 緑<sup>1</sup>, 河部 真弓<sup>2</sup>, 古川 文夫<sup>1</sup>, 井上 薫<sup>1</sup>, 高橋 美和<sup>1</sup>, 広瀬 明彦<sup>3</sup>, 西川 秋佳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター病理部, <sup>2</sup>(株)DIMS医科学研究所, <sup>3</sup>国立  
医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター総合評価研究室

O-44

**胎生期Perfluorooctane sulfonate曝露ラットの肺組織発達についての検討**

○小林 康子<sup>1</sup>, 武藤 朋子<sup>2</sup>, 本橋 昌也<sup>1</sup>, 石田 憲太<sup>1</sup>, 今井 海<sup>1</sup>, 和久井 信<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>麻布大学 獣医学部 比較毒性学研究室, <sup>2</sup>(財)化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所

10:00~10:30

**座長：渋谷 淳**(東京農工大学 農学部獣医学科)

O-45

**幼若ラットにおける有機塩素剤(DDT)反復投与の海馬への影響**

首藤 康文, 靄島 淳子, 藤江 秀彰, 小松 豊, 山口 悟, 大塚 亮一, ○武田 眞記夫, 原田 孝則  
残留農薬研究所 毒性部

O-46

**脳発生-発達期の神経シグナルかく乱による遅発性中枢影響解析  
-幼若期雄マウスへのイボテン酸投与による脳高次機能障害について-**

○種村 健太郎, 五十嵐 勝秀, 松上 稔子, 相崎 健一, 北嶋 聡, 菅野 純  
国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・毒性部

O-47

**マウス黒質内リポポリサッカライド投与によるパーキンソン病病態モデル動物作製における神経毒性発現機序**

○石井 敦子<sup>1</sup>, 田中 佐知子<sup>1</sup>, 大滝 博和<sup>2</sup>, 塩田 清二<sup>2</sup>, 沼澤 聡<sup>1</sup>, 吉田 武美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>昭和大学 薬学部 毒物学教室, <sup>2</sup>昭和大学 医学部 第一解剖教室

10:30~11:00

**座長：鍛冶 利幸**(北陸大学 薬学部)

O-48

**血管内皮細胞においてNrf1はカドミウムに対する防御応答を担う転写因子である**

○新開 泰弘<sup>1</sup>, 山本 千夏<sup>2</sup>, 鍛冶 利幸<sup>2</sup>, 熊谷 嘉人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学大学院人間総合科学研究科, <sup>2</sup>北陸大学薬学部

O-49

**6価クロムによるメタロチオネイン遺伝子発現抑制機構の解析**

○木村 朋紀<sup>1</sup>, 奥村 文香<sup>1</sup>, 小野寺 章<sup>2</sup>, 中西 剛<sup>3</sup>, 伊藤 徳夫<sup>2</sup>, 磯部 正和<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>摂南大学薬学部毒性学研究室, <sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野, <sup>3</sup>岐阜薬科大学衛生学研究室

O-50

**トリブチルスズによるGluR2発現減少における転写因子NRF-1阻害**

○古武 弥一郎, 瀧下 智子, 小島 安由里, 田原 栄俊, 中津 祐介, 太田 茂  
広島大学大学院医歯薬学総合研究科

11:00~11:30

**座長：東 泰好**(アストラゼネカ(株))

O-51

**魚胚に対するエコトキシコメタボロミクスの医薬品環境影響評価への応用**

○新野 竜大<sup>1</sup>, 宇野 誠一<sup>2</sup>, 國師 恵美子<sup>3</sup>, 山元 優孝<sup>2</sup>, 小安 純子<sup>1</sup>, 大堀 祐司<sup>1</sup>, 斎藤 穂高<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部安科研事業部横浜研究センター, <sup>2</sup>鹿児島大学水産学部附属海洋資源環境教育センター, <sup>3</sup>鹿児島大大学院連合農学研究科

O-52

**芳香族炭化水素受容体(AhR)の分子生物学的解析による鳥類のダイオキシン類感受性評価**

○藤澤 希望<sup>1</sup>, 池中 良徳<sup>1</sup>, 山本 秀明<sup>2</sup>, Eun-Young KIM<sup>3</sup>, Jin-Seon LEE<sup>3</sup>, 岩田 久人<sup>4</sup>, 石塚 真由美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院獣医学研究科毒性学教室, <sup>2</sup>札幌市立円山動物園, <sup>3</sup>Kyung Hee University, Department of Biology, <sup>4</sup>愛媛大学沿岸環境科学研究センター

O-53

**医薬品の環境リスクアセスメントについて**

○安齋 享征<sup>1</sup>, 林 大祐<sup>1</sup>, 佐藤 哲男<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>ハーランラボラトリーズ(株), <sup>2</sup>HAB研究機構附属研究所

# 一般演題 ポスター

6月16日(水) 10:00 ~17:00

展示棟

P-1

## 合成ビタミンKであるメナジオンの解毒代謝におけるNAD(P)H:quinone oxidoreductase 1の役割

○宇佐見 まみ, 西山 貴仁, 大沼 友和, 小倉 健一郎, 平塚 明  
東京薬科大学薬学部薬物代謝安全性学教室

P-2

## アシルグルクロニドの細胞毒性および遺伝毒性に関する検討

○古賀 利久<sup>1,2</sup>, 藤原 亮一<sup>1</sup>, 深見 達基<sup>1</sup>, 中島 美紀<sup>1</sup>, 榎山 英二<sup>2</sup>, 横井 毅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 薬物代謝化学研究室, <sup>2</sup>大塚製薬(株)徳島研究所 安全性研究センター 代謝分析研究部

P-3

## 抗炎症および薬物代謝酵素誘導作用を併せ持つ食用植物の探索

○武田 結花, 大沼 友和, 西山 貴仁, 小倉 健一郎, 平塚 明  
東京薬科大学薬学部安全性学教室

P-4

## フェノバルビタール(PB)経口投与ラットにおける鉄利用障害性貧血

○小嶋 五百合, 吉田 敏則, 福森 純子, 山口 悟, 富田 真理子, 黒澤 好, 高橋 尚史, 大沼 彩, 飯田 勉, 石塚 勝美, 石塚 広幸, 佐藤 直行, 平山 浩司, 川勝 尚夫, 武田 眞記夫, 中島 信明, 青山 博昭, 原田 孝則  
(財)残留農薬研究所

P-5

## 創薬におけるミトコンドリア毒性評価

○田村 幸太郎, 宇波 明, 渡部 浩治, 関 二郎  
アステラス製薬(株)研究本部 安全性研究所

P-6

## ラット視細胞の単離培養とその機能解析

○柿内 太, 澤田 光平, 菅沼 彰純, 青木 豊彦, 築館 一男  
エーザイ(株)安全性研究部 筑波研究室

P-7

## グルタチオン枯渇ラット初代培養肝細胞を用いた特異体質性薬物障害リスク評価

○藤本 和則<sup>1</sup>, 岸野 寛之<sup>1</sup>, 大場 智恵子<sup>1</sup>, 矢本 敬<sup>1</sup>, 眞鍋 淳<sup>2</sup>, 三分一所 厚司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>第一三共(株)安全性研究所, <sup>2</sup>第一三共(株)プロジェクト推進部

P-8

## ラット初代末梢神経培養系を用いた低グルコースおよび高インスリンの末梢神経への影響検討

○川瀧 拓, 山本 敏誠, 高谷 尋美, 久米 英介  
田辺三菱製薬(株)安全性研究所

P-9

## 乱用薬物が神経伸張に及ぼす影響～PC12細胞を用いて～

○山本 卓, 貝崎 明日香, 田中 佐知子, 沼澤 聡, 吉田 武美  
昭和大学薬学部毒物学教室

P-10

## Methimazole及びPropylthiouracil投与ラットの白血球を用いたマイクロアレイ解析

○長崎 修治, 大竹 幸代, 荒木 誠一, 久田 茂  
あすか製薬(株)安全性研究部



P-11

**アセトアミノフェン投与によるカニクイザル肝臓におけるmicroRNAの発現解析**

○伊勢 良太<sup>1,2</sup>, 福島 民雄<sup>1,3</sup>, 瀧 憲二<sup>1,4</sup>, 堀井 郁夫<sup>1,4</sup>, 吉田 武美<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学薬学部, <sup>2</sup>(株)新日本科学 安全性研究所, <sup>3</sup>塩野義製薬(株)安全性研究部門, <sup>4</sup>ファイザー(株)非臨床開発研究部

P-12

**除菌剤Quatのマウスにおける経口投与の影響**

○藤谷 知子, 小縣 昭夫, 中江 大

東京都健康安全研究センター 環境保健部

P-13

**ラットにおける心及び骨格筋毒性マーカーの有用性の検討**

○殿村 優, 森 陽子, 上原 健城, 鳥井 幹則

塩野義製薬(株)新薬研究所

P-14

**CrI:CD(SD)ラットの幼若期における背景データ:**

**体重, 器官重量, 血液学的検査, 血液生化学的検査及び病理組織学的検査成績**

○城塚 康毅, 関 将章, 松本 清, 茶谷 文雄

武田薬品工業(株)開発研究センター

P-15

**Wistar Hannoverラットの生物学的特徴に対する供給源の差に関する検討**

○山田 篤<sup>1</sup>, 外岡 輝子<sup>1</sup>, 木村 守<sup>1</sup>, 布留川 恵美子<sup>1</sup>, 小川 まり<sup>1</sup>, 栗本 優子<sup>1</sup>, 石田 尚夫<sup>1</sup>, 廣田 里香<sup>2</sup>, 春日 敏郎<sup>2</sup>, 森口 聡<sup>2</sup>, 岡崎 欣正<sup>2</sup>, 大石 裕司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>アステラスリサーチテクノロジー(株)安全性研究部, <sup>2</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所

P-16

**化学物質の胎生期暴露による新生児アレルギー発現に関する実験的研究**

**—胎生期に卵白アルブミンにより感作されたラットのアナフィラキシー様症状(その2)—**

○久保田 亜里紗, 樋口 剛史, 山田 朱美, 内田 秀臣, 川島 邦夫

三菱化学メディエンス(株)熊本事業所

P-17

**SIRP $\alpha$ 及びCD71抗体を用いたフローサイトメトリー法によるラット骨髄細胞分類の検討**

○有坂 宣彦, 武藤 信一, 小林 冨香, 高橋 哲明, 西山 千鶴, 牛越 昭二, 相馬 晋司, 黒田 淳二

キッセイ薬品工業(株)安全性研究所

P-18

**皮下投与製剤のラット皮下における局所刺激性試験**

○竹内 くみこ, 土屋 紀子, 朝野 由美, 上野 元伸, 鳥井 幹則, 加藤 育雄

塩野義製薬(株)新薬研究所 安全性研究部門

P-19

**ベンゾジアゼピン系静脈催眠・鎮静剤のウサギを用いた単回投与による血管刺激性の検討**

○三谷 治, 渡邊 幸彦, 山村 睦朗, 田矢 廣司, 曾我 学

丸石製薬(株)中央研究所 第2開発研究部

P-20

**持続注入法によるウサギ血管局所刺激性試験の有用性**

○木屋 昭憲, 関本 良子, 有富 博之, 丸山 敏之, 高須 伸夫, 上野 元伸, 鳥井 幹則, 加藤 育雄

塩野義製薬(株)新薬研究所

P-21

**ジャケット式テレメトリーシステムを用いたカニクイザルにおける心電図の安定取得技術の確立**

○伊藤 辰哉<sup>1</sup>, 三浦 幸仁<sup>1</sup>, 小泉 富彦<sup>1</sup>, 山田 裕一郎<sup>2</sup>, 小松 竜一<sup>2</sup>, 本多 正樹<sup>2</sup>, 高井 了<sup>1,2</sup>, 木村 和哉<sup>2</sup>, 田保 充康<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(株)中外医学研究所 薬理・病態研究センター, <sup>2</sup>中外製薬(株)安全性研究部

P-22

### BALB/cマウスを用いた静脈内投与による光毒性試験の検討

○宇都宮 慎治, 高橋 義博, 山下 祐介, 大坪 靖治, 一井 隆亨, 中村 隆広, 和泉 博之,  
洲加本 孝幸  
(株)新日本科学 安全性研究所

P-23

### カニクイザルにおけるホルター心電図検査-JETシステムを用いた検討

○和田 聰, 谷川 常博, 細田 秀勝, 伊藤 昂也, 秋山 賢之介, 大保 真由美, 安東 賢太郎,  
倉田 祥正, 橋本 敬太郎  
三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 鹿島事業所

P-24

### 老化促進モデルマウス(SAMP8)における薬物性肝損傷と酸化ストレスの関連: マイクロアレイを用いた遺伝子発現の網羅的解析

○藤澤 紘<sup>1</sup>, 今野 誠<sup>1</sup>, 山本 智宏<sup>2</sup>, 西脇 森衛<sup>2</sup>, 山崎 則之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>(株)新薬開発研究所, <sup>2</sup>(株)GLab病理解析センター

P-25

### ラットの物体認識におけるドネベジル塩酸塩の影響

○阿部 浩幸, 岡嶋 匠, 堤 宏禎, 勝 尚子, 土山 道夫, 古川 茂典  
日精バイリス(株)滋賀研究所 研究部

P-26

### MNUのメーカーの違いによるrasH2マウス発がん性差異の検討

○町田 一彦, 浦野 浩司, 吉村 マスミ, 富澤 政史, 保田 昌彦, 野村 達次  
(財)実験動物中央研究所

P-27

### 肝毒性薬物によるキメラマウス肝遺伝子発現変動におけるロット差の検討

長塚 伸一郎<sup>1</sup>, ハイNZ ダリナ<sup>1</sup>, ○二宮 真一<sup>1</sup>, 加国 雅和<sup>2</sup>, 向谷 知世<sup>2</sup>, 島田 卓<sup>2</sup>, 山添 康<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>積水メディカル(株)薬物動態研究所, <sup>2</sup>(株)フェニックスバイオ, <sup>3</sup>東北大学大学院 薬学研究科

P-28

### 細胞表面-SH基を指標とした感作性試験代替法(SH test)に関する基礎検討

○廣田 衛彦<sup>1</sup>, 本山 晃<sup>1</sup>, 萩野 滋延<sup>1</sup>, 上月 裕一<sup>1</sup>, 板垣 宏<sup>1</sup>, 佐々 齊<sup>1</sup>, 相場 節也<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>資生堂リサーチセンター, <sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科皮膚科学講座

P-29

### 培養角膜モデルを用いた眼刺激性試験評価

○加藤 雅一, 小笠原 隆広, 白井 あけ美, 浜島 史泰, 重田 智美, 畠 賢一郎  
(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 研究開発部

P-30

### 毒性スクリーニングモデル動物としてのゼブラフィッシュ

○井上 裕基, 森下 克美  
大塚製薬(株)徳島研究所 安全性研究センター 毒性研究部 第一研究室

P-31

### 蛍光色素を用いたin vitro脂質蓄積評価系の構築

○松本 朱美, 宮本 索, 平山 愛, 黒住 千尋, 森 郁生, 堀之内 彰  
武田薬品工業(株)開発研究センター

P-32

### 量子計算による新規記述子を用いた皮膚感作性の構造活性相関

○永堀 博久, 吉岡 薫, 森本 隆史, 太田 美佳, 斎藤 昇二, 金子 秀雄  
住友化学(株)生物環境科学研究所

P-33

**マウスES細胞を用いた新規発生毒性代替法試験の検討**

○鈴木 紀之, 堀江 宣行, 安藤 覚, 斎藤 幸一  
住友化学(株)生物環境科学研究所

P-34

**マウスES細胞を利用した神経分化過程における発生毒性に関与する遺伝子の解析**

○鈴木 紀之, 安藤 覚, 堀江 宣行, 斎藤 幸一  
住友化学(株)生物環境科学研究所

P-35

**CBAマウスを用いた局所リンパ節試験(LLNA) –RI法及びBrdU法の比較–**

○大坪 靖治<sup>1</sup>, 高橋 義博<sup>1</sup>, 吉川 隆大<sup>2</sup>, 山下 祐介<sup>1</sup>, 宇都宮 慎治<sup>1</sup>, 福田 剛司<sup>1</sup>, 中村 貴敏<sup>2</sup>,  
中村 隆広<sup>1</sup>, 和泉 博之<sup>1</sup>, 鶴藤 雅裕<sup>2</sup>, 洲加本 孝幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>(株)新日本科学 安全性研究所, <sup>2</sup>(株)新日本科学 薬物代謝分析センター

P-36

**ラット培養胎児へのミノキシジルの影響**

○横山 篤<sup>1</sup>, 秋田 正治<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>神奈川生命科学研究所, <sup>2</sup>鎌倉女子大学

P-37

**改良STE法を用いた口腔粘膜刺激性試験代替法の開発**

○山口 能宏<sup>1</sup>, 中村 牧<sup>1</sup>, Lina BIAN<sup>2</sup>, Xiaolin LI<sup>2</sup>, Lu QIU<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>小林製薬(株)中央研究所, <sup>2</sup>中華人民共和国上海出入境検査検疫局

P-38

**rasH2マウスの肺を用いた超短期発がん性試験法の開発**

○河部 真弓<sup>1</sup>, 沼野 琢旬<sup>1</sup>, 勝呂 繭子<sup>1</sup>, 土井 悠子<sup>1</sup>, 今井 則夫<sup>1</sup>, 古川 文夫<sup>1</sup>, 浦野 浩司<sup>2</sup>,  
堤 秀樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>(株)DIMS医科学研究所, <sup>2</sup>(財)実験動物中央研究所

P-39

**Use of toxicogenomic profiling in single-dose studies for predicting the type of liver weight increase**

○Kaori ABE-TOMIZAWA<sup>1,2</sup>, Yohsuke MINOWA<sup>1</sup>, Katsumi MORISHITA<sup>1,2</sup>,  
Hiroshi YAMADA<sup>1</sup>, Tetsuro URUSHIDANI<sup>1,3</sup>, Yasuo OHNO<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>Toxicogenomics-Informatics Project, National Institute of Biomedical Innovation,  
<sup>2</sup>Tokushima Research Institute, Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd., <sup>3</sup>Faculty of Pharmaceutical  
Sciences, Doshisha Women's College of Liberal Arts, <sup>4</sup>National Institute of Health Sciences

P-40

**遺伝子発現情報を用いたメカニズムベースのグルタチオン枯渇評価系の構築**

○五十嵐 芳暢<sup>1</sup>, 清澤 直樹<sup>2</sup>, 南 圭一<sup>3</sup>, 神吉 将之<sup>4</sup>, 太田 聖子<sup>1</sup>, 堀之内 彰<sup>5</sup>, 小野 敦<sup>6</sup>,  
山田 弘<sup>1</sup>, 漆谷 徹郎<sup>1,7</sup>, 大野 泰雄<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクスインフォマティクスプロジェクト, <sup>2</sup>第一三共(株)安全性  
研究所, <sup>3</sup>小野薬品工業(株)福井研究所 安全性研究部, <sup>4</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所, <sup>5</sup>武田薬  
品工業(株)開発研究センター, <sup>6</sup>国立医薬品食品衛生研究所 総合評価研究室, <sup>7</sup>同志社女子大学 薬  
学部, <sup>8</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-41

**TGPデータベースを利用した肝細胞壊死を伴わない血中ALT上昇バイオマーカーの探索**

○棚治 隆史<sup>1</sup>, 奥山 学<sup>1</sup>, 田川 義章<sup>1</sup>, 松本 幸治<sup>2</sup>, 小野 敦<sup>3</sup>, 山田 弘<sup>4</sup>, 漆谷 徹郎<sup>4,5</sup>, 大野 泰雄<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>(株)三和化学研究所 製薬研究所 安全性評価グループ, <sup>2</sup>(株)三和化学研究所 製薬研究所, <sup>3</sup>国立医  
薬品食品衛生研究所 総合評価研究室, <sup>4</sup>(独)医薬品基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティ  
クスプロジェクト, <sup>5</sup>同志社女子大学 薬学部 病態生理学, <sup>6</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-42

**ラット腎臓における尿細管障害マーカー遺伝子の発現変動の局在に関する研究**

○上田 晴子<sup>1</sup>, 上原 健城<sup>1</sup>, 箕輪 洋介<sup>1</sup>, 中津 則之<sup>1</sup>, 山田 弘<sup>1</sup>, 大野 泰雄<sup>2</sup>, 漆谷 徹郎<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>3</sup>同志社女子大学薬学部病態生理学

P-43

**トキシコゲノミクスデータベースを用いた遺伝子セットレベルのネットワーク解析**

○清澤 直樹<sup>1,3</sup>, 新野 訓代<sup>1</sup>, 渡辺 恭子<sup>1</sup>, 眞鍋 淳<sup>2</sup>, 三分一所 厚司<sup>1</sup>, 小野 敦<sup>3,4</sup>, 山田 弘<sup>3</sup>,  
 漆谷 徹郎<sup>3,5</sup>, 大野 泰雄<sup>3,6</sup>, 矢本 敬<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>第一三共(株)安全性研究所, <sup>2</sup>第一三共(株)プロジェクト推進部, <sup>3</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>4</sup>国立医薬品食品衛生研究所 総合評価室, <sup>5</sup>同志社女子大学 薬学部病態生理学, <sup>6</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-44

**ゲノミクスおよびメタボノミクス手法を用いたラットにおける骨格筋障害バイオマーカーの探索**

○大林 久佐邦, 山内 秀介, 齊藤 航, 白井 真人, 新野 訓代, 本多 久美, 清澤 直樹, 谷 吉朗,  
 矢本 敬, 三分一所 厚司  
 第一三共(株)安全性研究所

P-45

**ラットにおける肝細胞壊死に関連した遺伝子マーカー探索と判別モデル構築**

○大村 功<sup>1</sup>, 松田 喬<sup>2</sup>, 木上 大輔<sup>1</sup>, 田村 幸太朗<sup>1</sup>, 神吉 将之<sup>1</sup>, 宇波 明<sup>1</sup>, 小堀 正人<sup>2</sup>, 渡部 浩治<sup>1</sup>,  
 山田 弘<sup>3</sup>, 漆谷 徹郎<sup>3,4</sup>, 大野 泰雄<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所, <sup>2</sup>アステラス製薬(株)分子医学研究所, <sup>3</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>4</sup>同志社女子大学 薬学部, <sup>5</sup>国立医薬品衛生研究所

P-46

**DMSOがヒト凍結肝細胞の遺伝子発現に与える影響**

○住田 佳代<sup>1</sup>, 五十嵐 芳暢<sup>2</sup>, 鳥塚 尚樹<sup>3</sup>, 松下 智哉<sup>4</sup>, 阿部 香織<sup>5</sup>, 青木 幹雄<sup>6</sup>, 漆谷 徹郎<sup>2,7</sup>,  
 山田 弘<sup>2</sup>, 大野 泰雄<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>住友化学(株)生物環境科学研究所, <sup>2</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト(TGP2), <sup>3</sup>エーザイ(株)応用薬理・新技術部, <sup>4</sup>中外製薬(株)安全性研究部, <sup>5</sup>大塚製薬(株)徳島研究所, <sup>6</sup>大日本住友製薬(株)ゲノム科学研究所, <sup>7</sup>同志社女子大学 薬学部, <sup>8</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-47

**トキシコゲノミクスデータベースを用いた薬剤誘発性胆管増生マーカー遺伝子の探索**

○松下 智哉<sup>1</sup>, 武藤 裕紀<sup>2</sup>, 芦原 基起<sup>2</sup>, 三島 雅之<sup>1</sup>, 山田 弘<sup>3</sup>, 漆谷 徹郎<sup>3,4</sup>, 大野 泰雄<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>中外製薬(株)安全性研究部, <sup>2</sup>中外製薬(株)創薬資源研究部, <sup>3</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>4</sup>同志社女子大学 薬学部, <sup>5</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-48

**アセトアミノフェン及び類縁体を用いたメタボノミクスによるラット肝障害マーカー探索**

○齊藤 航, 清澤 直樹, 山内 秀介, 熊谷 和善, 矢本 敬, 三分一所 厚司, 古川 忠司  
 第一三共(株)安全性研究所

P-49

**ラット血液における肝毒性由来遺伝子マーカー候補の探索**

○中津 則之<sup>1</sup>, 神吉 将之<sup>2</sup>, 山田 弘<sup>1</sup>, 漆谷 徹郎<sup>1</sup>, 大野 泰雄<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>2</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所, <sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-50

**ラットにおける薬剤誘発性肝線維化を予測する遺伝子マーカーの探索と評価**○半田 千彰<sup>1</sup>, 武藤 信一<sup>2</sup>, 中津 則之<sup>3</sup>, 赤羽 敏<sup>1</sup>, 山田 弘<sup>3</sup>, 大野 泰雄<sup>4</sup>, 漆谷 徹郎<sup>3,5</sup><sup>1</sup>キッセイ薬品工業(株)創薬研究部, <sup>2</sup>キッセイ薬品工業(株)開発研究部 安全性研究所, <sup>3</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>4</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>5</sup>同志社女子大学薬学部病態生理学教室

P-51

**反応性代謝物生成に関連したバイオマーカーの探索**○甲斐 敏裕<sup>1</sup>, 弓立 恭寛<sup>2</sup>, 青木 幹雄<sup>1</sup>, 山田 徹<sup>3</sup>, 木村 徹<sup>1</sup>, 山田 弘<sup>4</sup>, 漆谷 徹郎<sup>4,5</sup>, 大野 泰雄<sup>6</sup><sup>1</sup>大日本住友製薬(株)ゲノム科学研究所, <sup>2</sup>大日本住友製薬(株)開発統括部, <sup>3</sup>大日本住友製薬(株)安全性研究所, <sup>4</sup>医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>5</sup>同志社女子大学薬学部, <sup>6</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-52

**TGP大規模データベースにおけるラット肝の小胞体ストレス関連遺伝子の発現解析**○鳥塚 尚樹<sup>1</sup>, 中津 則之<sup>2</sup>, 小野 敦<sup>3</sup>, 山田 弘<sup>2</sup>, 漆谷 徹郎<sup>2,4</sup>, 大野 泰雄<sup>5</sup><sup>1</sup>エーザイ(株)応用薬理・新技術部, <sup>2</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研究所 総合評価研究室, <sup>4</sup>同志社女子大学 薬学部病態生理学研究室, <sup>5</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-53

**メタボノミクス解析によるEthylene Glycol Monomethyl Ether(EGME)誘発ラット精巢毒性の発症機序とバイオマーカーの探索**○安藤 洋介<sup>1</sup>, 武井 誠<sup>2</sup>, 齊藤 航<sup>1</sup>, 谷本 友恵<sup>1</sup>, 清澤 直樹<sup>1</sup>, 眞鍋 淳<sup>3</sup>, 三分一所 厚司<sup>1</sup>, 岩淵 晴男<sup>2</sup>, Klaus-Peter ADAM<sup>4</sup>, Michael V. MILBURN<sup>4</sup>, Lining GUO<sup>4</sup>, 矢本 敬<sup>1</sup><sup>1</sup>第一三共(株)安全性研究所, <sup>2</sup>第一三共(株)薬物動態研究所, <sup>3</sup>第一三共(株)プロジェクト推進部, <sup>4</sup>Metabolon, Inc.

P-54

**ヒト胃癌細胞の増殖に対するアシタバ含有カルコン類の抑制作用とその作用機構の解析**○竹内 有沙<sup>1</sup>, 坂口 実<sup>1</sup>, 馬場 きみ江<sup>2</sup>, 谷口 雅彦<sup>2</sup>, 芝野 真喜雄<sup>2</sup>, 高岡 昌徳<sup>1</sup><sup>1</sup>大阪薬科大学 生体機能解析学研究室, <sup>2</sup>大阪薬科大学 生薬科学研究室

P-55

**ヒト肝癌細胞(SK-Hep-1)におけるethanol誘発性酸化ストレスとFas death receptorを介するアポトーシスとの関連**

○望月 義也, 辻 まゆみ, 小山田 英人, 大田 美智, 小口 勝司

昭和大学 医学部 第一薬理学教室

P-56

**銅イオンによるミトコンドリア膜透過性遷移に対する膜結合性グルタチオントランスフェラーゼの関与**

○Enkhbaatar ULZIIKHISHIG, 今泉 直樹, 安仁屋 洋子

琉球大学医学部保健学科分子遺伝学

P-57

**ドキシソルピシン心筋症における蛋白糖化反応の役割**○森山 智之<sup>1</sup>, 花見 正幸<sup>2</sup>, 堀江 利治<sup>1</sup><sup>1</sup>千葉大学大学院 医学薬学府 生物薬剤学研究室, <sup>2</sup>(株)ボゾリサーチセンター つくば研究所 病理部

P-58

**脂質の酸化修飾物がヒト皮膚細胞に与える影響**○内野 正<sup>1</sup>, 仲川 清隆<sup>2</sup>, 五十嵐 良明<sup>1</sup>, 西村 哲治<sup>1</sup>, 宮澤 陽夫<sup>2</sup><sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>2</sup>東北大学大学院農学研究科

P-59

### ラット卵胞の排卵過程における遺伝子発現プロファイル

○坪田 健次郎<sup>1</sup>, 神吉 将之<sup>2</sup>, 竹内 文乃<sup>1</sup>, 能登 貴久<sup>1</sup>, 白木 克尚<sup>1</sup>, 小野 美穂子<sup>1</sup>, 大石 裕司<sup>1</sup>, 中山 裕之<sup>3</sup>, 松本 正博<sup>1</sup>

<sup>1</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所 毒性病理研究室, <sup>2</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所 分子毒性研究室, <sup>3</sup>東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医病理学研究室

P-60

### ソムノペンチルのマウスにおける麻酔効果および体内動態に及ぼす希釈溶媒の影響

○浅川 直之, 大塚 純, 角 将一, 水谷 立美, 吉澤 和彦, 古田 富雄, 松本 常男, 栗田 晃伸, 鈴木 勝也, 鈴木 倫, 小林 稔秀, 金子 公幸, 船橋 英行, 兼田 憲昌, 加藤 幾雄, 内田 和美 (株)ヤクルト本社 中央研究所 安全性試験研究センター

P-61

### ゲニステインによるゼブラフィッシュ骨格形成の阻害

○勝山 博信<sup>1</sup>, 松島 眞浩<sup>1</sup>, 日根野谷 一<sup>1</sup>, 伏見 滋子<sup>1</sup>, 富田 正文<sup>2</sup>, 渡辺 洋子<sup>3</sup>, 日高 和夫<sup>3</sup>, 西條 清史<sup>4</sup>

<sup>1</sup>川崎医科大学公衆衛生学教室, <sup>2</sup>川崎医科大学医用中毒学教室, <sup>3</sup>川崎医科大学生化学教室, <sup>4</sup>金沢大学大学院環境生体分子応答学講座

P-62

### ラット血清中アルミニウムの濃度測定

○石川 典子<sup>1</sup>, 平田 真理子<sup>1</sup>, 須永 昌男<sup>1</sup>, 中山 拓生<sup>1</sup>, 木口 雅夫<sup>1</sup>, 松浦 正男<sup>1</sup>, 今井 俊夫<sup>2,3</sup>, 小川 久美子<sup>2</sup>, 西川 秋佳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(株)化合物安全性研究所, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>3</sup>国立がんセンター研究所

P-63

### タバコ煙抽出液の直鎖状長鎖DNAに対する切断活性の1分子直接観察に基づく速度論解析

○高田 達也, 栗田 弘史, 安田 八郎, 高島 和則, 水野 彰  
豊橋技術科学大学 エコロジー工学系

P-64

### 動物血液分析装置XT-2000iVを用いた骨髓有核細胞の計数及び分類 -第2報-

○坂田 孝<sup>1</sup>, 西尾 綾子<sup>2</sup>, 小田 康雅<sup>1</sup>, 塩原 範久<sup>3</sup>, 松本 清司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>シスメックス(株), <sup>2</sup>信州大学ヒト環境科学研究支援センター, <sup>3</sup>(株)エーテック

P-65

### ラットの中樞神経系に対するナノ粒子を多く含むディーゼル排気粒子点鼻の影響

○横田 俊二<sup>1</sup>, 高島 宏昌<sup>1</sup>, 宮原 敬<sup>1</sup>, 吉田 由香<sup>1</sup>, 根倉 司<sup>1</sup>, 斉藤 義明<sup>1</sup>, 平林 尚之<sup>1</sup>, 渡辺 卓穂<sup>1</sup>, 太田 亮<sup>1</sup>, 堀内 伸二<sup>1</sup>, 藤谷 雄二<sup>2</sup>, 平野 靖史郎<sup>2</sup>, 藤巻 秀和<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(財)食品薬品安全センター 秦野研究所, <sup>2</sup>(独)国立環境研究所

P-66

### ナノマテリアルの安全性確保に向けて :

#### ナノマテリアルの次世代影響評価に向けた精巢組織への移行性に関する基礎的検討

○森下 裕貴<sup>1,2</sup>, 吉岡 靖雄<sup>1,3</sup>, 山下 浩平<sup>1,2</sup>, 東阪 和馬<sup>1,2</sup>, 吉田 徳幸<sup>1,2</sup>, 藤村 真穂<sup>1,2</sup>, 長野 一也<sup>1</sup>, 阿部 康弘<sup>1</sup>, 鎌田 春彦<sup>1,3</sup>, 今澤 孝喜<sup>5</sup>, 河合 裕一<sup>6</sup>, 眞弓 忠範<sup>6</sup>, 伊藤 徳夫<sup>2</sup>, 吉川 友章<sup>1,2</sup>, 角田 慎一<sup>1,3,4</sup>, 堤 康央<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所創薬プロテオミクスプロジェクト, <sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野, <sup>3</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>4</sup>大阪大学連携大学院薬学研究科医薬基盤科学分野, <sup>5</sup>(独)医薬基盤研究所共同実験機器室, <sup>6</sup>神戸学院大学薬学研究科

P-67

**ナノマテリアルの安全性確保に向けて：  
表面性状に着目した非晶質ナノシリカの安全性向上に関する基礎情報**

○ 栃木 彩恵子<sup>1,2</sup>, 吉川 友章<sup>1,2</sup>, 鍋師 裕美<sup>1,2</sup>, 仲里 泰太郎<sup>1,2</sup>, 松山 恵吾<sup>1,2</sup>, 平井 敏郎<sup>1,2</sup>,  
近藤 小百合<sup>1,2</sup>, 赤瀬 貴憲<sup>1,2</sup>, 長野 一也<sup>1</sup>, 阿部 康弘<sup>1</sup>, 吉岡 靖雄<sup>1,3</sup>, 鎌田 春彦<sup>1,3</sup>, 今澤 孝喜<sup>5</sup>,  
伊藤 徳夫<sup>1,2</sup>, 角田 慎一<sup>1,3,4</sup>, 堤 康央<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所創薬プロテオミクスプロジェクト, <sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野,  
<sup>3</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>4</sup>大阪大学連携大学院薬学研究科医薬基盤科学分野,  
<sup>5</sup>(独)医薬基盤研究所共同機器実験室

P-68

**ラット気管内投与での多層カーボンナノチューブの肺に対する反応**

○ 納屋 聖人<sup>1</sup>, 小林 憲弘<sup>1</sup>, 遠藤 茂寿<sup>2</sup>, 丸 順子<sup>2</sup>, 江馬 眞<sup>1</sup>, 中西 準子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(独)産業技術総合研究所 安全科学研究部門, <sup>2</sup>(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門

P-69

**家庭用品に用いられるコロイダルシリカ及び銀ナノ粒子の安全性評価**

○ 伊佐間 和郎<sup>1</sup>, 児玉 幸夫<sup>2</sup>, 吉田 緑<sup>3</sup>, 中嶋 富士雄<sup>2</sup>, 西川 秋佳<sup>3</sup>, 松岡 厚子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 療品部, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部,  
<sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 病理部

P-70

**酸化チタンナノ粒子のラット皮膚透過性**

○ 五十嵐 良明, 相場 友里恵, 内野 正, 西村 哲治

国立医薬品食品衛生研究所 環境衛生化学部

6月17日(木) 10:00 ~17:00

展示棟

P-71

**カドミウムの精巣障害に及ぼすメタロチオネイン-IIIの影響**

○ 本田 晶子<sup>1,4</sup>, 小室 広明<sup>1</sup>, 長谷川 達也<sup>2</sup>, 瀬子 義幸<sup>2</sup>, 島田 章則<sup>3</sup>, 永瀬 久光<sup>4</sup>, 保住 功<sup>5</sup>,  
犬塚 貴<sup>5</sup>, 原 英彰<sup>4</sup>, 藤原 泰之<sup>1</sup>, 佐藤 雅彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>愛知学院大学薬学部, <sup>2</sup>山梨環境科学研究所, <sup>3</sup>鳥取大学農学部, <sup>4</sup>岐阜薬科大学, <sup>5</sup>岐阜大学大学院医学系研究科

P-72

**カドミウムによるマウス小腸の鉄輸送関連遺伝子の発現抑制**

○ 坂野 博紀, 藤原 泰之, 本田 晶子, 佐藤 雅彦

愛知学院大学薬学部

P-73

**カドミウム長期曝露によるユビキチン関連遺伝子の発現抑制を介したp53の増加**

○ 徳本 真紀<sup>1,2</sup>, 藤原 泰之<sup>1</sup>, 長谷川 達也<sup>3</sup>, 瀬子 義幸<sup>3</sup>, 島田 章則<sup>4</sup>, 永瀬 久光<sup>2</sup>, 佐藤 雅彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>愛知学院大学薬学部, <sup>2</sup>岐阜薬科大学, <sup>3</sup>山梨県環境科学研究所, <sup>4</sup>鳥取大学農学部

P-74

**メチル水銀毒性発現における転写因子HSF1の役割**

○ 領家 克典, 黄 基旭, 永沼 章

東北大院・薬

P-75

**メチル水銀毒性発現におけるピルビン酸と活性酸素種との関与**

○ 李 辰竜, 黄 基旭, 永沼 章

東北大院・薬

P-76

### ナノマテリアルの安全性確保に向けて： 非晶質ナノシリカの細胞内局在と安全性の連関に関する基礎情報の集積

○吉川 友章<sup>1,2</sup>, 鍋師 裕美<sup>1,2</sup>, 赤瀬 貴憲<sup>1,2</sup>, 栃木 彩恵子<sup>1,2</sup>, 平井 敏郎<sup>1,2</sup>, 仲里 泰太郎<sup>1,2</sup>, 松山 恵吾<sup>1,2</sup>, 近藤 小百合<sup>1,2</sup>, 長野 一也<sup>2</sup>, 阿部 康弘<sup>2</sup>, 吉岡 靖雄<sup>2,3</sup>, 鎌田 春彦<sup>2,3</sup>, 今澤 孝喜<sup>5</sup>, 伊藤 徳夫<sup>1,2</sup>, 角田 慎一<sup>2,3,4</sup>, 堤 康史<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>大阪大学薬学研究科毒性学分野, <sup>2</sup>(独)医薬基盤研究所創薬プロテオミクスプロジェクト,

<sup>3</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>4</sup>(独)医薬基盤研究所共同機器実験室, <sup>5</sup>大阪大学連携大学院薬学研究科医薬基盤科学分野

P-77

### 刺青を基準物質としたカーボンナノチューブの生体適合性評価

○原 一生<sup>1</sup>, 青木 薫<sup>1</sup>, 薄井 雄企<sup>1</sup>, 清水 政幸<sup>1</sup>, 荻原 伸英<sup>1</sup>, 石垣 範雄<sup>1</sup>, 中村 恒一<sup>1</sup>, 羽二生 久夫<sup>3</sup>, 加藤 博之<sup>1</sup>, 遠藤 守信<sup>3,4</sup>, 齋藤 直人<sup>2</sup>

<sup>1</sup>信州大学医学部運動機能学, <sup>2</sup>信州大学医学部保健学科応用理学療法学, <sup>3</sup>信州大学カーボン科学研究所, <sup>4</sup>信州大学工学部

P-78

### ナノマテリアルの安全性確保に向けて： 非晶質ナノシリカの生殖発生への影響に関する基礎評価

○山下 浩平<sup>1,2</sup>, 吉岡 靖雄<sup>1,3</sup>, 東阪 和馬<sup>1,2</sup>, 森下 裕貴<sup>1,2</sup>, 吉田 徳幸<sup>1,2</sup>, 藤村 真穂<sup>1,2</sup>, 長野 一也<sup>1</sup>, 阿部 康弘<sup>1</sup>, 鎌田 春彦<sup>1,3</sup>, 今澤 孝善<sup>5</sup>, 味村 和哉<sup>6</sup>, 柳原 格<sup>6</sup>, 齊藤 滋<sup>7</sup>, 河合 裕一<sup>8</sup>, 眞弓 忠範<sup>8</sup>, 伊藤 徳夫<sup>2</sup>, 吉川 友章<sup>1,2</sup>, 角田 慎一<sup>1,3,4</sup>, 堤 康史<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>(独)医薬基盤研究所創薬プロテオミクスプロジェクト, <sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野,

<sup>3</sup>大阪大学臨床医工学融合研究教育センター, <sup>4</sup>大阪大学連携大学院薬学研究科医薬基盤科学分野,

<sup>5</sup>(独)医薬基盤研究所共同機器実験室, <sup>6</sup>大阪母子保健総合医療センター研究所, <sup>7</sup>富山大学大学院医学薬学研究部産科婦人科学分野, <sup>8</sup>神戸学院大学薬学研究科

P-79

### 単層カーボンナノチューブによるヒト呼吸器系細胞のストレス関連遺伝子に及ぼす影響

○等 浩太郎<sup>1</sup>, 加藤 美紀<sup>1</sup>, 鈴木 智子<sup>2</sup>, 安藤 義則<sup>2</sup>, 灘井 雅行<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名城大学薬学部, <sup>2</sup>名城大学理工学部

P-80

### Diclofenacの反応性代謝物に及ぼすLipopolysaccharideの生体内影響

○岸田 知行<sup>1</sup>, 田中 智<sup>1</sup>, 小野里 知哉<sup>1</sup>, 本川 佳幸<sup>1</sup>, 笠原 寛子<sup>1</sup>, 村山 文樹<sup>2</sup>, 筒井 将<sup>1</sup>, 相馬 晋司<sup>1</sup>, 黒田 淳二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>キッセイ薬品工業(株)安全性研究所, <sup>2</sup>キッセイ薬品工業(株)実験業務課

P-81

### CYP2C19遺伝子多型によるサリドマイド体内動態変化に関する研究

○松澤 直樹<sup>1</sup>, 中村 克徳<sup>1</sup>, 百瀬 泰行<sup>1</sup>, 松永 民秀<sup>2</sup>, 松田 正之<sup>3</sup>, 大森 栄<sup>1</sup>

<sup>1</sup>信州大学医学部附属病院薬剤部, <sup>2</sup>名古屋市立大学大学院薬学研究科臨床薬学教育研究センター,

<sup>3</sup>信州大学医学部第三内科

P-82

### フェノバルビタールのCYP2B誘導におけるHypoxia Inducible Factor-1の役割

○志津 怜太, 進藤 佐和子, 沼澤 聡, 吉田 武美

昭和大学薬学部毒物学教室

P-83

### Protection by Ethyl-3, 4-Dihydroxybenzoate (EDHB) against cell killing during chemical hypoxia to cultured rat hepatocytes: EDHB prevents free radicals in anoxia

○Kang Kwang LEE<sup>1</sup>, Gregory L. LOVELACE<sup>1</sup>, Venkat K RAMSHESH<sup>1</sup>, Xun ZHANG<sup>1</sup>, Hartmut JAESCHKE<sup>2</sup>, John J. LEMASTERS<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Center for Cell Death, Injury and Regeneration, Department of Pharmaceutical Sciences, Medical University of South Carolina, <sup>2</sup>University of Kansas Medical Center



P-84

**ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた電気生理学的安全性評価の有用性**

○本多 正樹, 清川 順平, 田保 充康, 木村 和哉, 三島 雅之, 千葉 修一, 井上 智彰  
中外製薬(株)安全性研究部

P-85

**PDI familyタンパク質ERp29とERp46に対するビスフェノールAの影響について**

○工藤 智弘  
関西学院大学理工学部生命科学科医科学専攻

P-86

**ダイオキシン曝露によるマウス肝臓中miR-101aの減少**

○東山 渉, 吉岡 亘, 掛山 正心, 大迫 誠一郎, 遠山 千春  
東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター健康環境医工学部門

P-87

**エストロゲン応答性レポーターTGマウスを用いた 2,3,7,8-TCDDのエストロゲンシグナルに対する影響評価**

○北村 翔<sup>1</sup>, 吉田 一郎<sup>1</sup>, 浦田 聖<sup>1</sup>, 角 友一郎<sup>2</sup>, 東 由貴江<sup>2</sup>, 中西 剛<sup>1,2</sup>, 永瀬 久光<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岐阜薬科大学大学院 衛生学研究室, <sup>2</sup>大阪大学大学院 薬学研究科毒性学分野

P-88

**Cre-loxPシステムを用いたマウス胎盤特異的遺伝子発現システムの構築**

○浦田 聖, 吉田 一郎, 北村 翔, 中西 剛, 永瀬 久光  
岐阜薬科大学衛生学研究室

P-89

**エコトキシコゲノミクスへの応用を目的とした半網羅的ディファレンシャル・ディスプレイ法**

○伊東 志野<sup>1,2</sup>, 遠藤 大二<sup>1</sup>, 池田 晴喜<sup>1</sup>, 伊藤 知子<sup>1</sup>, 鶴飼 典佳<sup>1</sup>, 金 恩英<sup>3,4</sup>, 岩田 久人<sup>3</sup>,  
北澤 多喜雄<sup>1</sup>, 平賀 武夫<sup>1</sup>, 寺岡 宏樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>酪農学園大学 獣医学部, <sup>2</sup>生化学工業, <sup>3</sup>愛媛大学 沿岸環境科学研究センター, <sup>4</sup>Kyung Hee University, Dept. of Life and Nanopharmaceutical Science & Biology (Korea)

P-90

**PXR活性化物質の種差プロファイリング：  
in vitroレポーターアッセイを用いた工業化学物質のスクリーニング**

○吉成 浩一, 今井 純, 山添 康  
東北大学大学院薬学研究科薬物動態学分野

P-91

**薬剤誘発性胆管増生の判別モデル構築における学習データセットの比較**

○武藤 裕紀<sup>1</sup>, 松下 智哉<sup>2</sup>, 大森 寛<sup>1</sup>, 芦原 基起<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>中外製薬(株)創薬資源研究部, <sup>2</sup>中外製薬(株)安全性研究部

P-92

**クロスオミクスによるグルタチオン枯渇型肝障害バイオマーカーの探索**

○南 圭一<sup>1</sup>, 五十嵐 芳暢<sup>2</sup>, 神吉 将之<sup>3</sup>, 太田 聖子<sup>2</sup>, 堀之内 彰<sup>4</sup>, 小野 敦<sup>5</sup>, 山田 弘<sup>2</sup>,  
漆谷 徹郎<sup>2,6</sup>, 大野 泰雄<sup>2,7</sup>  
<sup>1</sup>小野薬品工業(株)福井研究所 安全性研究部, <sup>2</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, <sup>3</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所, <sup>4</sup>武田薬品工業(株)開発研究センター,  
<sup>5</sup>国立医薬品食品衛生研究所 総合評価研究室, <sup>6</sup>同志社女子大学 薬学部, <sup>7</sup>国立医薬品食品衛生研究所

P-93

**化学物質の短期発がん性スクリーニング法へのGeneChipデータの適用**

○松本 博士<sup>1</sup>, 齋藤 文代<sup>1</sup>, 美濃部 安史<sup>1</sup>, 白井 智之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>(財)化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所, <sup>2</sup>名古屋市立大学大学院 医学研究科 実験病態病理学

P-94

### ピペロニルブトキシサイドによるマウス肝発がん促進でプロモーター領域のメチル化亢進を示した分子の増殖性病変での発現挙動

○川合 正臣<sup>1,2</sup>, 三枝 由紀恵<sup>1,2</sup>, 剣持 明<sup>1,2</sup>, Liyun WANG<sup>1</sup>, 嶋本 敬介<sup>1,2</sup>, 三森 国敏<sup>1</sup>, 渋谷 淳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京農工大学 獣医病理学研究室, <sup>2</sup>岐阜大学大学院 連合獣医

P-95

### 薬物誘発性肝障害ラットの血漿における新規肝臓特異的mRNAの定量

○大久保 慎吾, 宮本 実, 栗崎 奈緒子, 宮本 由美子, 高見 健治  
 武田薬品工業(株)医薬研究本部 開発研究センター

P-96

### マウスでの化学物質誘発性肝肥大におけるConstitutive Androstane Receptorの役割

○坂本 洋平<sup>1</sup>, 吉田 緑<sup>1</sup>, 井上 薫<sup>1</sup>, 高橋 美和<sup>1</sup>, 武田 賢和<sup>1</sup>, 小澤 正吾<sup>2</sup>, 根岸 正彦<sup>3</sup>, 西川 秋佳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部, <sup>2</sup>岩手医科大学 薬学部 薬物代謝動態学, <sup>3</sup>Lab. Reprod. Dev. Tox., NIHES/NIH

P-97

### アセトアミノフェン誘発性肝障害におけるVEGF受容体シグナリングの役割

○加藤 哲希<sup>1,2</sup>, 伊藤 義也<sup>3</sup>, 細野 加奈子<sup>4</sup>, 鈴木 達紀<sup>4</sup>, 馬嶋 正隆<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科分子薬理, <sup>2</sup>ファイザー(株)非臨床開発研究部, <sup>3</sup>北里大学医学部外科, <sup>4</sup>北里大学医学部薬理

P-98

### 薬物誘導性肝障害に対するTamoxifenによる肝保護作用

吉川 幸孝<sup>1</sup>, ○豊田 泰之<sup>1</sup>, 津久井 通<sup>2</sup>, 常山 幸一<sup>3</sup>, 深見 達基<sup>1</sup>, 中島 美紀<sup>1</sup>, 横井 毅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 薬物代謝化学研究室, <sup>2</sup>埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター, <sup>3</sup>富山大学 医学薬学研究部 病理診断学講座

P-99

### 血漿オフタルミン酸測定の有用性評価

○喜古 健敬<sup>1</sup>, 新京 楽<sup>2</sup>, 福田 勝行<sup>2</sup>, 藤川 康浩<sup>1</sup>, 太田 恵津子<sup>1</sup>, 今出 寿雄<sup>3</sup>, 桜井 英樹<sup>1</sup>, 菅沼 彰純<sup>1</sup>, 築館 一男<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>エーザイ(株)安全性研究部, <sup>2</sup>エーザイ(株)薬物動態研究部, <sup>3</sup>(株)サンプラネット

P-100

### プロピリスルフロンの蛋白結合によるラット血中ビリルビン濃度の低下

○羽子田 真理, 永堀 博久, 味方 和樹, 西岡 和彦, 磯部 直彦, 金子 秀雄  
 住友化学(株)生物環境科学研究所

P-101

### 薬物誘発性ミトコンドリア膜透過性遷移における種差の解明

○関根 秀一, 木村 友映, 本山 碧, 設楽 悦久, 堀江 利治  
 千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室

P-102

### α-Naphthylisothiocyanate (ANIT) 誘導性肝障害へのinterleukin-17 (IL-17) の関与

○小林 雅典<sup>1,2</sup>, 樋口 悟法<sup>1</sup>, 常山 幸一<sup>3</sup>, 深見 達基<sup>1</sup>, 中島 美紀<sup>1</sup>, 横井 毅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 薬物代謝化学研究室, <sup>2</sup>田辺三菱製薬(株)研究本部 安全性研究所, <sup>3</sup>富山大学 医学薬学研究部 病理診断学講座

P-103

### ジクロキサシリン誘導性肝障害における免疫学的因子の関与

○樋口 悟法<sup>1</sup>, 小林 雅典<sup>1,2</sup>, 吉川 幸孝<sup>1</sup>, 常山 幸一<sup>3</sup>, 深見 達基<sup>1</sup>, 中島 美紀<sup>1</sup>, 横井 毅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 薬物代謝化学研究室, <sup>2</sup>田辺三菱製薬(株)研究本部 安全性研究所, <sup>3</sup>富山大学医学薬学研究部 病理診断学講座

P-104

### セサモールのLPSによるマクロファージ活性化阻害について

○上原 淳奈, 進藤 佐和子, 沼澤 聡, 吉田 武美  
 昭和大学薬学部毒物学教室

P-105

**カニクイザルNK(ナチュラルキラー)細胞の細胞傷害活性測定法の検討  
-CD107aの細胞表面への表出(脱顆粒)を指標として-**

○原田 英樹, 常深 慎, 徳留 秀樹, 岡村 隆之, 大西 康之, 平塚 秀明  
三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 鹿島事業所

P-106

**上皮細胞バリアに着目した食物アレルギーリスク評価**

○渡利 彰浩, 近藤 昌夫, 八木 清仁  
大阪大学大学院薬学研究科 生体機能分子化学分野

P-107

**ラット甲状腺二段階発がんモデルにおけるスルファジメトキシンの発がん促進により誘  
発される被膜浸潤がんに対するラック色素及びコチニール色素の腫瘍修飾効果**

○剣持 明<sup>1,2</sup>, 川合 正臣<sup>1,2</sup>, 三枝 由紀恵<sup>1,2</sup>, 嶋本 敬介<sup>1,2</sup>, 蓮見 恵司<sup>3</sup>, 三森 国敏<sup>1</sup>, 渋谷 淳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京農工大学 獣医病理, <sup>2</sup>岐阜大学 連合獣医, <sup>3</sup>東京農工大学 発酵

P-108

**生体内還元物質によって変動するPt(IV)化合物の酸化的DNA損傷および架橋形成作用**

中井 剛, 安藤 基純, 西野 義彦, 植田 康次, ○岡本 誉士典, 小嶋 仲夫  
名城大学薬学部

P-109

**ETBE慢性吸入曝露によるAldh2遺伝子ノックアウトマウスの肝臓DNA損傷について**

○翁 祖銓, 須田 恵, 大谷 勝己, 王 瑞生  
(独)労働安全衛生総合研究所

P-110

**がん原性試験におけるICRマウスとB6C3F1マウスにおける背景データ比較**

○八舟 宏典, 黒岩 有一, 山本 諭, 中村 憲彦, 大嶋 洋介, 増淵 康哲, 岡崎 修三  
(株)ボゾリサーチセンター 御殿場研究所

P-111

**がん原性試験におけるICRマウスとB6C3F1マウスの死因について**

○中村 憲彦, 黒岩 有一, 山本 諭, 八舟 宏典, 大嶋 洋介, 増淵 康哲, 岡崎 修三  
(株)ボゾリサーチセンター御殿場研究所

P-112

**Gpt deltaマウスを用いた食品添加物estragoleのin vivo変異原性の解析**

○鈴木 裕太<sup>1</sup>, 木島 綾希<sup>1</sup>, 日比 大介<sup>1</sup>, 金 美蘭<sup>1</sup>, 石井 雄二<sup>1</sup>, 児玉 幸夫<sup>2</sup>, 能美 健彦<sup>3</sup>,  
梅村 隆志<sup>1</sup>, 西川 秋佳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所 毒性部, <sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研  
究所 変異遺伝部

P-113

**gpt deltaラットを用いたオクラトキシンAのin vivo変異原性の解析**

○日比 大介<sup>1</sup>, 木島 綾希<sup>1</sup>, 鈴木 裕太<sup>1</sup>, 金 美蘭<sup>1</sup>, 石井 雄二<sup>1</sup>, 増井 則夫<sup>4</sup>, 能美 健彦<sup>2</sup>,  
小西 良子<sup>3</sup>, 梅村 隆志<sup>1</sup>, 西川 秋佳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部, <sup>3</sup>国立医薬品食品衛  
生研究所 衛生微生物部, <sup>4</sup>日本エスエルシー(株)

P-114

**ゼブラフィッシュ胚を用いたレチノイン酸, バルプロ酸ナトリウム及びペラパミルの催  
奇形性評価**

○山下 晃人<sup>1,2</sup>, 橋本 まき<sup>1</sup>, 出口 二郎<sup>1</sup>, 千原 和弘<sup>1</sup>, 稲田 拓<sup>1</sup>, 木村 重紀<sup>1</sup>, 船橋 齊<sup>1</sup>, 関 高樹<sup>1</sup>,  
矢部 泰二郎<sup>2</sup>, 高田 慎治<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大日本住友製薬(株)安全性研究所, <sup>2</sup>自然科学研究機構 基礎生物学研究所 分子発生学研究部門

P-115

### ラット黄体に病理学的変化をもたらす化学物質の卵巣毒性解析

○武田 賢和<sup>1,2</sup>, 吉田 緑<sup>1</sup>, 井上 薫<sup>1</sup>, 高橋 美和<sup>1</sup>, 坂本 洋平<sup>1</sup>, 渡辺 元<sup>3</sup>, 田谷 一善<sup>3</sup>, 山手 丈至<sup>2</sup>, 西川 秋佳<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 病理部, <sup>2</sup>大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医病理学教室, <sup>3</sup>東京農工大学大学院 共生科学技術研究科 獣医生理学教室

P-116

### 妊娠ラットにおけるエンドトキシン毒性の増強

○黒岩 有一, 嶋本 敬介, 金光 弘幸, 増渕 康哲, 中村 大地, 岡崎 修三

(株)ボゾリサーチセンター 御殿場研究所

P-117

### カニクイザルにおける着床前遺伝子診断を用いた効率的な個体作出の試み

○小山 周三<sup>1</sup>, 福田 浩司<sup>1</sup>, 渡辺 翔<sup>1</sup>, 松下 聡紀<sup>1</sup>, 小原 栄<sup>2</sup>, 有馬 昭宏<sup>1</sup>, 宇野 泰宏<sup>2</sup>, 細井 美彦<sup>3</sup>

<sup>1</sup>(株)新日本科学安全性研究所, <sup>2</sup>(株)新日本科学薬物代謝分析センター, <sup>3</sup>近畿大学生物理工学部

P-118

### 尿中mRNAの腎障害バイオマーカーとしての利用可能性について

○辻 有紀子, 岩知道 貴子, 高原 ちさと, 乾 直美, 高見 健治

武田薬品工業(株)医薬研究本部 開発研究センター

P-119

### CDDP単回静脈内投与ラットの腎臓におけるcystatin Cの免疫組織化学的局在

○富樫 裕子, 阪口 有佳, 宮本 まり, 島田 薫, 前田 晃央, 平形 美樹人, 宮本 庸平

東レ(株)医薬研究所安全性研究室

P-120

### 多環芳香族炭化水素類(PAHs)に対する両棲類の異物代謝機構の解明： 両棲類で観察された第II相抱合反応の特徴と種差

○上田 春樹, 中山 翔太, 池中 良徳, 石塚 真由美

北海道大学大学院獣医学研究科毒性学教室

P-121

### イヌテレメトリー試験における心電図誘導法の検討

○山中 洋泉<sup>1</sup>, 黒田 裕二<sup>1</sup>, 佐々木 一暁<sup>1</sup>, 天野 秀人<sup>1</sup>, 片山 誠一<sup>1</sup>, 今泉 真和<sup>1</sup>, 直 弘<sup>1,2</sup>, 飯塚 宏美<sup>2</sup>, 橋本 敬太郎<sup>2</sup>, 西 勝英<sup>1</sup>

<sup>1</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 熊本事業所 薬理研究部, <sup>2</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 鹿島事業所 薬理研究部

P-122

### ラットにおける血中カテコールアミン濃度の日内変動及び週齢変化

○飯開 順子, 財前 絹子, 千々波 公生, 岩永 寿真子, 那須 昌弘

三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 熊本事業所 生化学研究部

P-123

### 臨床病理学パラメーターに及ぼす絶食及び再給餌の影響(第2報)

○山口 貴嗣, 小川 秀治, 木ノ本 寿子, 澤多 美和, 鷲塚 昌隆, 米良 幸典

ゼリア新薬工業(株)中央研究所 動態・安全性研究室

P-124

### ブリーダーの違いによるイヌの月齢変化に伴う血中ホルモン濃度の差異

○野口 彰彦<sup>1</sup>, 岩永 寿真子<sup>1</sup>, 和田 聡<sup>2</sup>, 那須 昌弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 熊本事業所 生化学研究部,

<sup>2</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 鹿島事業所 安全性研究部

P-125

### 医薬品の環境リスク評価(1) 環境リスク評価の実例

○ 栢田 基司, 朝倉 純子, 山本 敦子, 三野 美都里, 新野 竜大, 刀祢 英, 松本 建, 大久保 博充,  
牧戸 直紀, 小安 純子, 佐藤 保夫, 大堀 祐司, 斎藤 穂高  
三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 横浜研究センター

P-126

### 医薬品環境リスク評価(2) 初期影響評価のための水生生物試験

○ 三野 美都里, 新野 竜大, 新倉 良之, 山田 正二郎, 吉村 奈緒子, 田中 靖子, 小安 純子,  
大堀 祐司, 斎藤 穂高  
三菱化学メディエンス(株)横浜研究センター

P-127

### 医薬品環境リスク評価(3) 陸生生物への毒性試験

○ 刀祢 英, 新野 竜大, 牧戸 直紀, 朝倉 純子, 新倉 良之, 溝口 美紀子, 落合 則幸, 吉田 裕司,  
小安 純子, 佐藤 保夫, 大堀 祐司, 斎藤 穂高  
三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 横浜研究センター

P-128

### 医薬品環境リスク評価(4) 環境動態試験

○ 大久保 博充, 三浦 史, 山本 敦子, 栢田 基司, 佐藤 保夫, 小安 純子, 大堀 祐司, 斎藤 穂高  
三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部安科研事業部横浜研究センター

P-129

### カニクイザルにおける臨床病理検査パラメーターの生産施設による違い(第2報)

○ 小田部 耕二<sup>1</sup>, 平澤 由貴<sup>1</sup>, 坂本 憲吾<sup>1</sup>, 倉田 昌明<sup>1</sup>, 山中 久<sup>1</sup>, 椎名 隆<sup>2</sup>, 太田 正穂<sup>3</sup>, 野村 護<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>(株)イナリサーチ, <sup>2</sup>東海大学医学部 分子生命科学, <sup>3</sup>信州大学医学部 法医学

P-130

### 多世代にわたる2GHz帯電波全身ばく露による脳の発達及び機能への影響

○ 今井 則夫<sup>1,2</sup>, 河部 真弓<sup>1</sup>, 土井 悠子<sup>1</sup>, 中島 弘尚<sup>1</sup>, 小川 三由紀<sup>1</sup>, 古川 文夫<sup>1</sup>, 白井 智之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>(株)DIMS医科学研究所, <sup>2</sup>名古屋市立大学・院・医・実験病態病理

P-131

### 血液適合性試験における標準的方法の確立

○ 犬飼 香織<sup>1</sup>, 新藤 智子<sup>2</sup>, 木村 順治<sup>1</sup>, 小島 幸一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>テルモ(株)研究開発本部 評価センター, <sup>2</sup>(財)食品薬品安全センター 秦野研究所

P-132

### NOGマウスを用いた再生医療品の造腫瘍性試験

○ 田中 直子<sup>1</sup>, 畑 優<sup>1</sup>, 室田 知美<sup>1</sup>, 早場 純子<sup>1</sup>, 麻生 良平<sup>1</sup>, 岩本 優美<sup>1</sup>, 萩原 仁美<sup>1</sup>, 張替 貴志<sup>1</sup>,  
西田 仁<sup>1</sup>, 大風 元<sup>1</sup>, 内山 琴美<sup>1</sup>, 伊勢岡 弘子<sup>1</sup>, 菊地 実記<sup>1</sup>, 菅原 浩行<sup>1</sup>, 鮫島 正<sup>2</sup>, 齋藤 充弘<sup>2</sup>,  
宮川 繁<sup>2</sup>, 澤 芳樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>テルモ(株)研究開発本部, <sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学

P-133

### A well-mixed room model for estimating consumer exposure to ingredients used in air refreshener products

○ Seok KWON<sup>1</sup>, Christina COWAN-ELLSBERRY<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>P&Gイノベーション合同会社 研究開発本部 安全性・薬事部, <sup>2</sup>CE<sup>2</sup> Consulting, LLC

P-134

### サル凍結肝細胞を用いたキノロン系抗菌薬の糖新生に対する影響

○ 井口 拓馬, 後藤 浩一, 神藤 敏正, 三分一所 厚司  
第一三共(株)安全性研究所

P-135

### ハイスループットBSEP(ABCB11)機能評価系を用いた新規蛍光ラベル化胆汁酸の動物種に対する基質特性

○榎本 茂樹<sup>1</sup>, 田中 健之<sup>1</sup>, 前田 都<sup>1</sup>, 安永 真沙<sup>1</sup>, 萩原 慶明<sup>1</sup>, 山口 佳奈<sup>2</sup>, 村井 毅<sup>2</sup>, 黒澤 隆夫<sup>2</sup>, 渡部 博次<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(株)ジェノメンブレン, <sup>2</sup>北海道医療大学 薬学部

P-136

### ハイコンテンツスクリーニングを用いた薬剤性肝障害リスク評価

○根木 真一<sup>1</sup>, 笈田 浩次<sup>2</sup>, 藤ヶ谷 浩文<sup>1</sup>, 小西 幹夫<sup>1</sup>, 阿瀬 善也<sup>2</sup>, 七野 裕<sup>1</sup>

<sup>1</sup>小野薬品工業(株)研究本部 福井研究所 安全性研究部, <sup>2</sup>小野薬品工業(株)研究本部 創薬技術部

P-137

### 多層カーボンナノチューブの投与による炎症・免疫系への影響

○山口 敦美<sup>1</sup>, 藤谷 知子<sup>1</sup>, 大橋 則雄<sup>1</sup>, 広瀬 明彦<sup>2</sup>, 西村 哲治<sup>3</sup>, 中江 大<sup>1</sup>, 小縣 昭夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京都健康安全研究センター・環境保健部, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所・総合評価研究部, <sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研究所・環境衛生化学部

P-138

### 低濃度化学物質の気道アレルギー反応検出法検討(刺激性物質および接触性過敏物質との鑑別)

○福山 朋季, 田島 由香里, 林 宏一, 上田 英夫, 首藤 康文, 原田 孝則, 小坂 忠司

(財)残留農薬研究所 毒性部

P-139

### ラットにおける免疫系パラメーターの週齢差の検討

○久富 晃彦, 串間 清司, 藤原 道夫

アステラス製薬(株)安全性研究所

P-140

### バイオテクノロジー応用医薬品に対するヒト新鮮血液を用いた *in vitro* 免疫原性リスク評価系の検討

○久保 千代美, 早川 まりえ, 伊藤 俊輔, 岩田 良香, 塩田 明文, 原 俊子, 井上 智彰, 三島 雅之

中外製薬(株)安全性研究部

P-141

### テルビナフィン<sup>®</sup>はERKシグナル伝達経路を介してヒト単球性THP-1細胞の炎症性サイトカイン産生を刺激する

水野 克彦, 深見 達基, 中島 美紀, ○横井 毅

金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 薬物代謝化学研究室

6月18日(金) 10:00~15:30

展示棟

P-142

### 気管内投与試験の肺毒性評価に及ぼす麻酔薬および媒体の影響

○涌生 聖, 浜田 修一, 大西 康之, 佐藤 ゆかり, 河裾 健志, 石村 純一

三菱化学メディエンス(株)安科研事業部

P-143

### ラット/マウスにおけるサーファクタントプロテインDの急性肺障害マーカーとしての有用性

○村山 寛<sup>1</sup>, 永江 尚人<sup>1</sup>, 村田 誠<sup>1</sup>, 濱沖 勝<sup>1</sup>, 黒木 由夫<sup>2</sup>, 高橋 弘毅<sup>2</sup>

<sup>1</sup>ヤマサ醤油(株)診断薬部, <sup>2</sup>札幌医科大学医学部医学科

P-144

**モルヒネの皮下投与によるラット、イヌおよびサル呼吸機能に及ぼす影響の比較検討**

○馬 成俊, 佐々木 一暁, 中村 康生, 山中 洋泉, 今泉 真和, 片山 誠一, 直 弘, 西 勝英  
三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 薬理研究部

P-145

**サルを用いたWhole-Body Plethysmographyによる呼吸・循環器機能測定への静脈内持続投与の導入**

○佐々木 一暁<sup>1</sup>, 山中 洋泉<sup>1</sup>, 馬 成俊<sup>1</sup>, 天野 秀人<sup>1</sup>, 森 由紀子<sup>1</sup>, 中村 康生<sup>1</sup>, 黒田 裕二<sup>1</sup>,  
今泉 真和<sup>1</sup>, 片山 誠一<sup>1</sup>, 直 弘<sup>1,2</sup>, 飯塚 宏美<sup>2</sup>, 西 勝英<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 熊本研究所 薬理研究部,  
<sup>2</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 鹿島研究所 薬理研究部

P-146

**イヌを用いたwhole body plethysmographyによる呼吸・循環器機能測定への静脈内持続投与の導入**

○中村 康生, 今泉 真和, 馬 成俊, 佐々木 一暁, 天野 秀人, 山中 洋泉, 黒田 裕二, 片山 誠一,  
直 弘, 西 勝英  
三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 熊本事業所

P-147

**カニクイザルでのERGによるON-OFF responseの評価**

○木下 順三, 岩田 憲明, 肝付 智文, 安田 充也  
第一三共(株)安全性研究所

P-148

**ウレタン投与ラットの角膜混濁と眼球表面乾燥の関係に関する研究**

○小池 智宏, 佐藤 優子, 池田 五子, 杉本 次郎, 竹川 潔, 久米 英介, 宇野 芳文  
田辺三菱製薬(株)研究本部 安全性研究所

P-149

**カナマイシン投与によるラットの聴性脳幹反応**

○久世 博, 小川 竜也, 寺戸 泰徳, 松島 圭太, 小森 千晶, 津田 裕一, 田村 一利  
(株)ボゾリサーチセンター

P-150

**ラットにおけるケタミン/キシラジン混合麻酔により一過性に発現する水晶体混濁**

○杉山 真弓<sup>1</sup>, 江崎 健<sup>2</sup>, 小林 幹英<sup>1</sup>, 園田 二郎<sup>1</sup>, 速水 賢二<sup>2</sup>, 田中 春樹<sup>2</sup>, 峯島 浩<sup>1</sup>,  
青木 豊彦<sup>1</sup>, 築館 一男<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>エーザイ(株)バイオフィーマシューティカル・アセスメント機能ユニット安全性研究部, <sup>2</sup>(株)サン  
プラネット川島支援統括部研開支援部

P-151

**低栄養に起因する脳発達遅延は海馬歯状回のニューロン発達に影響を及ぼさない**

○大石 巧<sup>1,2</sup>, 三枝 由紀恵<sup>1,3</sup>, 小川 文一郎<sup>1</sup>, Liyun WANG<sup>1</sup>, 嶋本 敬介<sup>1,3</sup>, 剣持 明<sup>1,3</sup>,  
藤澤 賢一<sup>2</sup>, 三森 国敏<sup>1</sup>, 渋谷 淳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京農工大・獣医病理, <sup>2</sup>(株)ボゾ・リサーチセンター, <sup>3</sup>岐阜大・院・連合獣医

P-152

**抗精神病薬による錐体外路系副作用：新規抗精神病薬blonanserinの評価**

○岡野 元紀, 清水 佐紀, 今木 淳太, 多田羅 絢加, 奥村 貴裕, 河合 悦子, 大野 行弘  
大阪薬科大学 薬品作用解析学研究室

P-153

**抗精神病薬による錐体外路系副作用：抗うつ薬による増強メカニズム**

○多田羅 絢加, 今木 淳太, 今奥 琢士, 岡野 元紀, 河合 悦子, 大野 行弘  
大阪薬科大学 薬品作用解析学

P-154

**発達期神経毒暴露に起因するニューロン分布異常に対する影響評価系の確立  
－小脳片葉小節葉の顆粒細胞層におけるReelin陽性細胞の検討－**

○三枝 由紀恵<sup>1,2</sup>, 富士本 仁<sup>3</sup>, 禹 桂炯<sup>3</sup>, 剣持 明<sup>1,2</sup>, 嶋本 敬介<sup>1,2</sup>, 広瀬 雅雄<sup>4</sup>, 西川 秋佳<sup>3</sup>,  
三森 国敏<sup>1</sup>, 渋谷 淳<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>東京農工大学 獣医病理学研究室, <sup>2</sup>岐阜大学大学院 連合獣医学研究科 病態獣医学講座, <sup>3</sup>国立医  
薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 病理部, <sup>4</sup>内閣府 食品安全委員会

P-155

**抗精神病薬による錐体外路系副作用：5-HT<sub>1A</sub>受容体を介する発現調節機構**

○大野 行弘, 清水 佐紀, 多田羅 絢加, 河合 悦子

大阪薬科大学 薬品作用解析学

P-156

**MALDI-TOF MS解析における脳脊髄液採取時の血液混入の検出検討  
－ラット脳脊髄液を用いたCNS評価のためのプロテオーム解析基礎検討－**

○塩谷 元宏<sup>1</sup>, 木村 剛之<sup>2</sup>, 小田 吉哉<sup>3</sup>, 澤田 光平<sup>1</sup>, 菅沼 彰純<sup>1</sup>, 青木 豊彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>エーザイ(株)安全性研究部, <sup>2</sup>エーザイ(株)プロテオミクス・メタボロミクス部, <sup>3</sup>エーザイ(株)バイ  
オマーカー&パーソナライズド・メディシン機能ユニット

P-157

**マウスの発達期マンガン暴露によりニューロン移動の異常とグリア増殖が誘発される**

○王 りゆ, 三枝 由紀恵, 小川 文一朗, 大石 巧, 嶋本 敬介, 剣持 明, 三森 国敏, 渋谷 淳

東京農工大学獣医病理

P-158

**心電図評価におけるQT/QTc短縮**

○原田 拓真<sup>1</sup>, Nicola REGAN<sup>2</sup>, Michael SUTTON<sup>2</sup>, Gareth WALDRON<sup>2</sup>

<sup>1</sup>ファイザー(株)非臨床開発研究部, <sup>2</sup>Pfizer Global Research & Development Sandwich

P-159

**サルテレメトリー試験における心内心電図の有用性の検討**

○黒田 裕二<sup>1</sup>, 山中 洋泉<sup>1</sup>, 佐々木 一暁<sup>1</sup>, 片山 誠一<sup>1</sup>, 今泉 真和<sup>1</sup>, 直 弘<sup>1,2</sup>, 飯塚 宏美<sup>2</sup>,  
西 勝英<sup>1</sup>

<sup>1</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 熊本事業所 薬理研究部,  
<sup>2</sup>三菱化学メディエンス(株)メディケム事業本部 安科研事業部 鹿島事業所 薬理研究部

P-160

**慢性房室ブロック(AVB)サルモデルによるVerapamil及びBepiridilの催不整脈作用の評価**

○坂口 靖江<sup>1</sup>, 坂本 憲吾<sup>1</sup>, 大谷 光嗣<sup>1</sup>, 若狭 芳男<sup>1</sup>, 森川 裕司<sup>1</sup>, 宮崎 博子<sup>1</sup>, 植松 敦史<sup>1</sup>,  
杉山 篤<sup>2</sup>, 本坊 敏保<sup>1</sup>, 野村 護<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(株)イナリサーチ, <sup>2</sup>山梨臨床薬理研究所

P-161

**摂餌量低下時のイヌにおける胃壁細胞の形態変化に関する病理組織学的検討**

○澤本 修, 福田 立, 早見 康高, 中島 芳文

(株)大塚製薬工場 研究開発センター 基礎評価研究部

P-162

**ミニプタを用いた外用剤の皮膚刺激性試験(その6)  
－NIBS系とGottingen系の系統差間の比較－**

○山田 恭史, 久保田 友成, 長瀬 孝彦, 久木 浩平

(株)日本バイオリサーチセンター 羽島研究所

P-163

**皮膚反応の肉眼観察における相対的数値化の試み－その2**

○阪西 弘太郎<sup>1</sup>, 平下 里佳恵<sup>1</sup>, 齋藤 あずさ<sup>1</sup>, 林 達也<sup>1</sup>, 山田 恭史<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(株)メニコン, <sup>2</sup>(株)日本バイオリサーチセンター



P-164

### 薬剤性腎障害と各種腎障害マーカーとの関連

○佐々木 大祐<sup>1</sup>, 山田 篤<sup>2</sup>, 梅野 仁美<sup>1</sup>, 栗原 博司<sup>1</sup>, 穴川 明子<sup>1</sup>, 藤平 司郎<sup>1</sup>, 小野 美穂子<sup>1</sup>, 坪田 健次郎<sup>1</sup>, 大村 功<sup>1</sup>, 森口 聡<sup>1</sup>, 渡部 浩治<sup>1</sup>, 関 二郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>アステラス製薬(株)安全性研究所, <sup>2</sup>アステラスリサーチテクノロジー(株)安全性研究部

P-165

### 尿細管障害モデルラットにおける各種腎障害バイオマーカーの比較検討

○岩知道 貴子, 辻 有紀子, 高原 ちさと, 乾 直美, 高見 健治

武田薬品工業(株)医薬研究本部 開発研究センター

P-166

### 新規ヒト電位依存性有機酸トランスポーターhOATv1によるオクラトキシンA輸送

○Promsuk JUTABHA<sup>1</sup>, 安西 尚彦<sup>1</sup>, Thanapol THAMMAPRATIP<sup>1</sup>, 遠藤 仁<sup>1,2</sup>, 櫻井 裕之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>杏林大学医学部薬理学教室, <sup>2</sup>ジェイファーマ(株)

P-167

### 腎虚血-再灌流における間質線維化への $\alpha$ -リポ酸の軽減効果

○河合 悦子<sup>1</sup>, 村上 賢次<sup>1</sup>, 新 範之<sup>1</sup>, 清水 真実<sup>1</sup>, 玄番 宗一<sup>2</sup>, 大野 行弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪薬科大学薬品作用解析学研究室, <sup>2</sup>横浜薬科大学機能形態学研究室

P-168

### 制限給餌飼育ラットにおける血中及び組織中ALT活性の変動

○前川 竜也<sup>1</sup>, 小林 章男<sup>1,2</sup>, 大信田 慎一<sup>1</sup>, 山崎 裕次<sup>1</sup>, 近藤 千真<sup>1</sup>, 阿部 卓也<sup>1</sup>, 鈴木 優典<sup>1</sup>, 公納 秀幸<sup>1</sup>, 菅井 象一郎<sup>1</sup>, 榊原 啓之<sup>2</sup>, 下位 香代子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日本たばこ産業(株)医薬総合研究所 安全性研究所, <sup>2</sup>静岡県立大学大学院 生活健康科学研究科

P-169

### ファストフード様飼料によるラットの脂質代謝に対する影響

○横谷 亮<sup>1</sup>, 松浦 正男<sup>1</sup>, 木口 雅夫<sup>1</sup>, 堀本 政夫<sup>2</sup>, 宮下 和夫<sup>3</sup>, 平田 真理子<sup>1</sup>, 古川 正敏<sup>1</sup>, 石川 典子<sup>1</sup>, 中山 拓生<sup>1</sup>, 野崎 裕美<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(株)化合物安全性研究所, <sup>2</sup>千葉科学大学, <sup>3</sup>北海道大学大学院水産科学研究院 機能性物質化学研究室

P-170

### 肝障害のバイオマーカーとなる血中microRNAの探索

○山浦 優<sup>1</sup>, 中島 美紀<sup>1</sup>, 高木 信伍<sup>1</sup>, 深見 達基<sup>1</sup>, 常山 幸一<sup>2</sup>, 横井 毅<sup>1</sup>

<sup>1</sup>金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬物代謝化学研究室, <sup>2</sup>富山大学医学薬学研究部 病理診断学講座

P-171

### BDF1マウスの長期発がん性試験における背景データ

○竹内 哲也, 片桐 卓, 鈴木 正明, 梅田 ゆみ, 奥田 裕計, 長野 嘉介, 福島 昭治

日本バイオアッセイ研究センター

P-172

### コカイン弁別ラットにおけるメタンフェタミン(MAP)の般化- MAP投与から般化テストまでの時間の影響 -

○飯野 雅彦<sup>1</sup>, 藤原 淳<sup>1</sup>, 内藤 志保<sup>1</sup>, 綿引 芳恵<sup>1</sup>, 小口 正夫<sup>1</sup>, 佐々木 幹夫<sup>1</sup>, 若狭 芳男<sup>1</sup>, 廣中 直行<sup>2</sup>, 柳田 知司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(株)イナリサーチ, <sup>2</sup>科学技術振興機構

P-173

### ラット眼球の生後発達過程における組織学的変化-自然発生性の眼球内出血について-

○稲垣 勝裕<sup>1,2</sup>, 古賀 裕康<sup>1</sup>, 井上 和美<sup>1</sup>, 鈴木 浩悦<sup>2</sup>, 鈴木 勝士<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日本農薬(株)総合研究所, <sup>2</sup>日本獣医生命科学大学 獣医生理学教室

P-174

### Assessment of cynomolgus monkey male reproductive parameters in a general toxicology study: Testicular volume, semen analysis and hormone data

○Satoru ONEDA<sup>1</sup>, Narine LALAYEVA<sup>1</sup>, Jamie KENFIELD<sup>1</sup>, Sarah HERRIN<sup>1</sup>, Lauren LENNOX<sup>1</sup>, Jessica LEWELLEN<sup>1</sup>, Takashi MATSUYAMA<sup>1</sup>, Denise THOMPSON<sup>1</sup>, Norbert MAKORI<sup>1</sup>, Russell EYRE<sup>1</sup>, Hideshi TSUSAKI<sup>1</sup>, Koichiro FUKUZAKI<sup>2</sup>, Ryoichi NAGATA<sup>2</sup>

<sup>1</sup>SNBL USA, Ltd., <sup>2</sup>Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

P-175

### エチレングリコールモノメチルエーテル(EGME)投与ラットにおける精巣でのマイクロRNA発現変動

○福島 民雄<sup>1,2</sup>, 瀧 憲二<sup>2,3</sup>, 伊勢 良太<sup>2,4</sup>, 堀井 郁夫<sup>2,3</sup>, 吉田 武美<sup>2</sup>

<sup>1</sup>塩野義製薬(株), 安全性研究部門, <sup>2</sup>昭和大学薬学部毒物学教室, <sup>3</sup>ファイザー(株)非臨床開発研究部, <sup>4</sup>(株)新日本科学安全性研究所

P-176

### ラット胎児におけるシトクロムP450遺伝子の発現解析

○前田 麻希<sup>1</sup>, 柿内 太<sup>1</sup>, 鳥塚 尚樹<sup>2</sup>, 植田 里佳<sup>3</sup>, 草野 一富<sup>3</sup>, 峯島 浩<sup>1</sup>, 青木 豊彦<sup>1</sup>, 築館 一男<sup>1</sup>

<sup>1</sup>エーザイ(株)安全性研究部, <sup>2</sup>エーザイ(株)応用薬理・新技術部, <sup>3</sup>エーザイ(株)筑波薬物動態研究室

P-177

### ETBE慢性吸入曝露によるALDH2遺伝子ノックアウトマウスの生殖系への影響について

○王 瑞生, 大谷 勝己, 須田 恵, 翁 祖銓

(独)労働安全衛生総合研究所

P-178

### CrI:CD(SD)雌ラットの加齢による性周期, 生殖パラメータ及び胎児発生に及ぼす影響

○山内 俊明, 石井 美沢, 松本 清, 茶谷 文雄

武田薬品工業(株)・医薬研究本部・開発研究センター

P-179

### Neurokinin receptor antagonist投与による精巣毒性発現機序に関する検討

○則武 健一<sup>1</sup>, 松岡 俊樹<sup>1</sup>, 下村 和裕<sup>1</sup>, 三分一所 厚司<sup>1</sup>, 上野山 賀久<sup>2</sup>, 束村 博子<sup>2</sup>, 前多 敬一郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>第一三共(株)安全性研究所, <sup>2</sup>名古屋大学大学院 生命農学研究科 生殖科学研究分野

P-180

### 雌性ラットの性周期における遺伝子発現プロファイル

○齋藤 文代<sup>1</sup>, 武吉 正博<sup>1</sup>, 寶珠山 五月<sup>2</sup>, 美濃部 安史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>(財)化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所, <sup>2</sup>(財)化学物質評価研究機構 日田事業所

P-181

### In vitro遺伝毒性試験における種差を考慮した代謝活性化システムの検証

○岸野 有紀<sup>1</sup>, 長谷川 智子<sup>1</sup>, 荒川 真吾<sup>1</sup>, 柴谷 由佳梨<sup>1</sup>, 加藤 亜矢子<sup>2</sup>, 西矢 由美<sup>3</sup>, Thomas FISCHER<sup>4</sup>, Juergen MUELLER<sup>4</sup>, 品川 朗<sup>2</sup>, 高崎 涉<sup>5</sup>, 矢本 敬<sup>1</sup>, 眞鍋 淳<sup>6</sup>, 三分一所 厚司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>第一三共(株)安全性研究所, <sup>2</sup>第一三共(株)トランスレーショナルメディシン部, <sup>3</sup>第一三共(株)薬物動態研究所, <sup>4</sup>Daiichi Sankyo Europe, <sup>5</sup>Daiichi Sankyo Pharma Development, <sup>6</sup>第一三共(株)プロジェクト推進部

P-182

### Diheptyl Phthalate (DHP)のin vivo遺伝毒性評価

○清水 茂一, 山中 妙子, 佐藤 福弘, 高尾 修治, 齋藤 明美

スギ生物科学研究所(株)

P-183

### カドミウムの母仔間移行におけるメタロチオネインと金属トランスポーターの役割

○太田 久吉<sup>1,2</sup>, 中村 康宏<sup>1</sup>, 大場 謙一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北里大学医療衛生学部衛生管理学産業保健学, <sup>2</sup>北里大学大学院医療系研究科環境医科学群環境毒医学

P-184

### メチル水銀はヒト脳微小血管内皮および周皮細胞のヒアルロン酸合成を誘導する

○廣岡 孝志<sup>1</sup>, 山本 千夏<sup>1,2</sup>, 安武 章<sup>3</sup>, 衛藤 光明<sup>3</sup>, 鍛冶 利幸<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北陸大学学術フロンティア, <sup>2</sup>北陸大学薬学部, <sup>3</sup>国立水俣病総合研究センター

P-185

### アマルガム修復による水銀蒸気曝露がラット腎臓の遺伝子発現に及ぼす影響

○高橋 好文<sup>1</sup>, 鶴田 昌三<sup>1</sup>, 本田 晶子<sup>2</sup>, 安武 章<sup>3</sup>, 佐藤 雅彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>愛知学院大学歯学部 歯科理工学講座, <sup>2</sup>愛知学院大学薬学部 衛生薬学講座, <sup>3</sup>国立水俣病総合研究センター

P-186

### ヒ素-グルタチオン抱合体の体外排泄に関するγ-GTPの影響

○小林 弥生<sup>1,2</sup>, 山城 彩花<sup>2</sup>, 平野 靖史郎<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>(独)国立環境研究所環境健康研究領域, <sup>2</sup>千葉大学大学院薬学研究院, <sup>3</sup>(独)国立環境研究所環境リスク研究センター

P-187

### クロチアニジンの妊娠期及び授乳期投与によるマウスの行動発達に及ぼす影響

○田中 豊人, 高橋 省, 大石 真之, 大橋 則雄, 中江 大, 小縣 昭夫

東京都健康安全研究センター 環境保健部

P-188

### F344ラットでみられた p,p'-DDT投与による小球性貧血

○富田 真理子, 吉田 敏則, 佐々木 淳矢, 黒澤 好, 福森 純子, 高橋 尚史, 大沼 彩, 小嶋 五百合, 原田 孝則

(財)残留農薬研究所 毒性部

P-189

### 農薬分析におけるGC/TOFMSを用いたノンターゲット分析の有効性

○土屋 文彦

LECOジャパン ライフサイエンス&ケミカルアナリシスセンター

P-190

### 鳥類におけるワルファリン感受性の比較

○渡邊 研右, 田中 和之, 池中 良徳, 石塚 真由美

北海道大学大学院獣医学研究科毒性学教室

P-191

### グリホサート製剤がヒメダカにおよぼす影響

○内田 雅也<sup>1,3</sup>, 後藤 祥之<sup>1</sup>, 江里口 貴士<sup>1</sup>, 山内 良子<sup>2</sup>, 中村 浩<sup>3</sup>, 鏡 良弘<sup>3</sup>, 草野 輝彦<sup>3</sup>, 有蘭 幸司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本県立大学大学院環境共生学研究科, <sup>2</sup>熊本県立大学環境共生学部, <sup>3</sup>(株)エコジェノミクス

P-192

### 1,2,5,6,9,10-ヘキサブプロモシクロドデカンのウズラの繁殖に及ぼす影響

○野村 幸子, 伊藤 雅也, 梅田 景子, 宮川 朋彦, 福田 苗美, 伊藤 義彦

(財)畜産生物科学安全研究所

P-193

### 発達期ゼブラフィッシュにおける早期浮腫評価系を用いたダイオキシンによる浮腫発生機構の検討

○寺岡 宏樹, 河村 幸浩, 大井 啓希, 白石 順也, 笹野 憲吾, 北澤 多喜雄, 平賀 武夫

酪農学園大学 獣医学部

P-194

### Microbial Volatile Organic Compoundsによるヒト侵害刺激受容体TRPA1及びTRPV1の活性化

○香川(田中) 聡子<sup>1</sup>, 古川 容子<sup>1</sup>, 大河原 晋<sup>2</sup>, 西村 哲治<sup>1</sup>, 神野 透人<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 環境衛生化学部, <sup>2</sup>武蔵野大学薬学部

P-195

### ハロアセトニトリル類によるヒト侵害刺激受容体TRPA1及びTRPV1の活性化

○神野 透人<sup>1</sup>, 古川 容子<sup>1</sup>, 大河原 晋<sup>2</sup>, 西村 哲治<sup>1</sup>, 香川(田中) 聡子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 環境衛生化学部, <sup>2</sup>武蔵野大学薬学部

P-196

### 水生生物を対象としたレチノイド様化学物質による生体影響評価のための*in vivo*アッセイ系の構築

○廣森 洋平<sup>1</sup>, 佐藤 祥暁<sup>1</sup>, 山口 雄士<sup>1</sup>, 澤田 和子<sup>2</sup>, 井上 大介<sup>2</sup>, 清 和成<sup>2</sup>, 池 道彦<sup>2</sup>, 中西 剛<sup>1</sup>, 永瀬 久光<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岐阜薬科大学衛生学研究室, <sup>2</sup>大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻

P-197

### 水環境中医薬品の紫外線による分解物生成と水棲生物毒性変動

尾川 雄一<sup>1</sup>, ○杉原 数美<sup>1,2</sup>, 川畑 公平<sup>1</sup>, 佐光 華佳<sup>1</sup>, 佐能 正剛<sup>1</sup>, 北村 繁幸<sup>3</sup>, 太田 茂<sup>1</sup>

<sup>1</sup>広島大学大学院医歯薬学総合研究科, <sup>2</sup>広島国際大学 薬学部, <sup>3</sup>日本薬科大学

P-198

### 遺伝子発現を指標としたPFOSの細胞毒性評価の検討

○嘉門 貴文<sup>1</sup>, 後神 秀基<sup>1</sup>, 高浪 龍平<sup>2</sup>, 尾崎 博明<sup>3</sup>, 白川 卓<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神戸大学大学院保健学研究科, <sup>2</sup>大阪産業大学産業研究所新産業研究開発センター, <sup>3</sup>大阪産業大学工学部都市創造工学科

P-199

### ケトコナゾールの器官形成期単回投与による奇形発現スペクトル及びビタミンAパルミタートとの比較

○峯島 浩<sup>1,2</sup>, 福田 哲也<sup>1</sup>, 加藤 恵美子<sup>1</sup>, 青木 豊彦<sup>1</sup>, 松野 義晴<sup>2</sup>, 森 千里<sup>2</sup>

<sup>1</sup>エーザイ(株)安全性研究部, <sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学

P-200

### ラット着床胚におけるタンパク質ジスルフィドイソメラーゼのチャージバリエーション発現に関する研究

○宇佐見 誠<sup>1</sup>, 宮島 敦子<sup>1</sup>, 満長 克祥<sup>2</sup>, 簾内 桃子<sup>1</sup>, 関野 祐子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立医薬品食品衛生研究所 薬理部, <sup>2</sup>東邦大学 薬学部

P-201

### 6-mercaptopurineによる妊娠ラット胎盤毒性に関連するmiRNAの解析

○瀧 憲二<sup>1,2</sup>, 福島 民雄<sup>1,3</sup>, 伊勢 良太<sup>1,4</sup>, 堀井 郁夫<sup>1,2</sup>, 吉田 武美<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学薬学部毒物学教室, <sup>2</sup>ファイザー(株)非臨床開発研究部, <sup>3</sup>塩野義製薬(株)安全性研究部門, <sup>4</sup>(株)新日本科学 安全性研究所

P-202

### Embryonic Stem Cell Test法への細胞分化障害からの回復因子導入の試み

○今井 弘一<sup>1</sup>, 武田 昭二<sup>1</sup>, 草川 森士<sup>2</sup>, 田上 昭人<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪歯科大学歯科理工学講座, <sup>2</sup>国立成育医療センター研究所薬剤治療研究部

P-203

### Comparing old and new endpoints to assess developmental neurotoxicity: A model study in rats with methylmercury

○Ine D.H. WAALKENS-BERENDSEN<sup>1</sup>, Marijana RADONJIC<sup>1</sup>, Natalie CAPPAERT<sup>2</sup>, Erik DE VRIES<sup>3</sup>, Rob STIERUM<sup>1</sup>, Didima DE GROOT<sup>1</sup>

<sup>1</sup>TNO Quality of Life, Zeist, The Netherlands, <sup>2</sup>University of Amsterdam, Amsterdam, The Netherlands, <sup>3</sup>Groningen University Medici Center/PET Center, Groningen, The Netherlands

P-204

### ステロール合成阻害作用を有する化合物のラットを用いた口蓋裂に関する実験的研究

○大田 泰史<sup>1</sup>, 池見 直起<sup>2</sup>, 吉田 龍二<sup>1</sup>, 島津 伸也<sup>1</sup>, 川島 邦夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>三菱化学メディエンス(株)熊本事業所, <sup>2</sup>大塚化学(株)

P-205

### First in Human試験における初回用量設定方法の検討

#### － 推定最小薬理作用量(MABEL)活用の試み－

○倍味 繁<sup>1</sup>, 安部 一豊<sup>1</sup>, 新井 裕幸<sup>1</sup>, 石井 豊<sup>1</sup>, 岡本 博樹<sup>1</sup>, 河内 雅直<sup>1</sup>, 国村 直<sup>1</sup>, 久保田 訓世<sup>1</sup>, 立道 聡<sup>1</sup>, 田中 康介<sup>1</sup>, 田原 誠<sup>1</sup>, 中島 謙治<sup>1</sup>, 中蘭 修<sup>1</sup>, 椰野 健司<sup>1</sup>, 能島 康幸<sup>1</sup>, 林 誠治<sup>1</sup>, 矢野 誠一<sup>1</sup>, 池田 孝則<sup>1</sup>, 中澤 隆弘<sup>1</sup>, 中村 和市<sup>1</sup>, 高柳 理早<sup>2</sup>, 山田 安彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会, <sup>2</sup>東京薬科大学薬学部臨床薬効解析学教室

P-206

### FMO法を用いたPPAR $\gamma$ リガンドの構造毒性相関

○宗像 紫織<sup>1</sup>, 元吉 沙也加<sup>1</sup>, 山岸 賢司<sup>2</sup>, 山田 幸子<sup>2,3</sup>, 青木 康展<sup>4</sup>, 白石 寛明<sup>4</sup>, 常盤 広明<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>立教大学理学部, <sup>2</sup>立教大極限生命情報研究センター, <sup>3</sup>日本大学医学部, <sup>4</sup>国立環境研究所環境リスク研究センター

P-207

### GHS分類における専門家判断の適用

○森田 健, 福島 久美子, 森川 馨

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

P-208

### 発酵セルロースのラットを用いた28日間反復投与毒性試験

○土井 悠子<sup>1</sup>, 萩原 昭裕<sup>1</sup>, 玉野 静光<sup>1</sup>, 大本 俊郎<sup>2</sup>, 浅井 以和夫<sup>2</sup>, 安原 加壽雄<sup>2</sup>, 林 新茂<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(株)DIMS医科学研究所, <sup>2</sup>三栄源エフ・エフ・アイ(株)

P-209

### ローズヒップエキスの単回および28日間反復投与毒性試験

○今戸 奈保子<sup>1</sup>, 旭 聡夫<sup>1</sup>, 長友 暁史<sup>2</sup>, 小崎 敏雄<sup>2</sup>, 西田 典永<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(株)田辺アールアンドディー・サービス 薬理毒性部, <sup>2</sup>森下仁丹(株)研究開発本部

P-210

### シコン色素を90日間反復投与したラット腎における酸化ストレス関与の検討

○木島 綾希, 鈴木 裕太, 田崎 雅子, 井上 知紀, 岡村 俊也, 石井 雄二, 梅村 隆志, 西川 秋佳

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 病理部

P-211

### 健康食品と医薬品の相互作用(5) :

#### ローズヒップエキスの連続投与がニフェジピンの体内動態に及ぼす影響

○長友 暁史<sup>1</sup>, 西田 典永<sup>1</sup>, 小崎 敏雄<sup>1</sup>, 西村 亜佐子<sup>2</sup>, 成橋 和正<sup>2</sup>, 大西 憲明<sup>3</sup>, 芝田 信人<sup>2</sup>

<sup>1</sup>森下仁丹(株), <sup>2</sup>同志社女子大学 薬学部, <sup>3</sup>姫路獨協大学 薬学部

P-212

### Effects of in utero exposure to di (2-ethylhexyl) phthalate on reproductive development in female offspring

Yu DING, ○Yu GAO, Rong SHI, Yi-Jun ZHOU, Ying TIAN

Department of Environmental Health, School of Public Health, Shanghai Jiaotong University School of Medicine, Shanghai, China

P-213

### Quantitative recording of spontaneous locomotor activity in socially housed cynomolgus monkeys

○Gerhard F WEINBAUER, Claudia ROSE, Sven H KORTE, Craig M LUETJENS

Covance Laboratories GmbH